

# 令和4年裾野市議会9月定例会

## 予算決算委員会 総務分科会（決算審査）

令和4年8月29日（月）、8月30日（火）

8月29日（月）	市長戦略部	財政課	. . . . .	2
		秘書課	. . . . .	16
		戦略推進課	. . . . .	23
		情報発信課	. . . . .	37
		渉外課	. . . . .	47
	総務部	税務課	. . . . .	54
		人事課	. . . . .	60
		行政課	. . . . .	76
	検査監	. . . . .	. . . . .	87

8月30日（火）	環境市民部	深良、富岡、須山支所	. . . . .	90
		コミュニティ課	. . . . .	99
		市民課	. . . . .	111
		危機管理課	. . . . .	118
		生活環境課	. . . . .	134
		美化センター	. . . . .	141
	議会事務局	. . . . .	. . . . .	149
	監査委員事務局	. . . . .	. . . . .	150
	出納課	. . . . .	. . . . .	152
	自由討議	. . . . .	. . . . .	154

9時00分 開会

○委員長（三富美代子） おはようございます。ただいまから、本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配付のとおりであります。

これより、予算決算委員会に付託され、総務分科会に割り振られました認定第1号 令和3年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうちの関係部分、認定第5号 令和3年度裾野市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第6号 令和3年度裾野市墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定についての審査を行います。

審査の方法は、各課単位で行い、それぞれ当局の説明を求めてから質疑に入りたいと思います。

質疑の後、意見を伺います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

ここで、各委員に申し上げます。質疑は一問一答方式で、要点を明確に、簡潔な質疑をお願いいたします。

意見につきましても、要点を明確に、簡潔をお願いいたします。

次に、分科会外委員の発言の許否についてお諮りいたします。

質疑、意見について、分科会外委員から発言の申出があった場合には、委員長がその発言の許否を定めたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

なお、分科会外委員の発言は、本委員の発言終了後といたします。

また、発言の際には録音の関係上、必ずマイクをご使用願います。

## 市長戦略部

### 財政課（1号）

○委員長（三富美代子） 財政課長の説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。37ページになります。調書のほうです。財政調整基金のところなのですけれども、令和3年度の残高が35億3,600万円ほどになって

います。裾野市行財政構造改革第2期計画の財政の見通しでは、令和3年度の財調の見通しが27億8,829万2,000円と示されております。見通しからすると7億7,000万円ほど減っているというか、少なく済んだというところなのですけれども、その要因みたいなものがあれば教えてください。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 要因につきましては、交付税等の歳入予定が当初よりも多く入ってきたこと、それから歳出抑制を図った関係で取崩額が少なく済んだことによるものがございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） はい、分かりました。残るということは非常にいいことだと思うので、頑張っていただけのだなと思っております。

もう一点なのですけれども、令和3年度が第1期行財政構造改革の締めということだと思っておりますけれども、第1期行財政構造改革の成果をどのようにお考えか教えてください。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 暫時休憩願います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時19分 休憩

9時20分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

財政課長。

○財政課長 第1期の取組の評価につきましては、事業費の削減、6億円以上の削減を行っています。ただし、扶助費等、増額等がされておりますので、基本的にはこれからも歳出削減については取り組んでいくということになろうかと思っております。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしくお願います。総合計画の中で、たゆまない行財政構造改革の推進というところがあるかと思うのですけれども、令和3年度のその取組の中で、特に力を注いだところ、改善したところ等ありましたらお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 財政課としましては、昨年行政改革の推進本部、それからPT、プロジェクトチームという中で事業費の見直し、そういったものに取り組んでまいりました。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 事業費の見直し等、様々取り組んだということは分かりました。その中で、特段財政課のほうから指示事項、あるいは注意事項という形で各課に対して、こういった観点でお願いしますといった、さらに進めるための何かというのがありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 財政課というよりは、むしろ行政改革課が主導しておりましたので、行政改革推進本部として、令和3年度当年度予算であっても執行の合理化、効率化を求めたものでございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時22分 休憩

9時23分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） 総合計画のほうになります。起債発行、発行する起債の抑制というところの項目があります。令和3年度におきまして、その観点でどのような取組等があったか、お願いいたします。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 起債につきましては、公債費の伸びが大分多くなっております。そういった中で、今後ある程度抑制を図っていかないと、財政規模が縮小しておりますので、償還が困難になる可能性もありますので、その辺はバランスを取りながら、事業に合わせて起債のほうを検討しているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

あと調書のほうになります。5ページの総括的なページをちょっと見ていただきたいと思うのですが、今回補正が18回ということで、非常に多い回数になっています。うち専決分も入っているので、そういった意味だと例年と余り変わっていないと言えば変わっていないかもしれないですけども、この回数、多かった回数というものに対して、財政課としてどのように捉えているかをお願いします。

ちょっと暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時24分 休憩

9時25分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

財政課長。

○財政課長 回数ごとに紙で資料のほうを配付、予算書、資料を配付しております。

可能であれば、今後データで配付のほうをさせていただきますと、非常に効率化が図れるものと考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 内容については理解いたしました。

取りあえず一旦ここで終わります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） それでは、1点だけ。30ページの経常収支比率なのですけれども、93.4%になりました。ですが、原資補填債とか、臨時財政対策債を経常一般財源から引いた場合は98.0%です。これをどのように評価しているか伺います。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 比率につきましては、昨年、その前、近年の中では減少傾向には転じていると捉えることもできますが、比率につきましては県内でもやはり高い部類になっておりますので、今後も動きは注意していかなければならないと考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 県内で高い部類という、かなりこれでは財政が膠着化しているという状況になるのですけれども、目指すところはどれぐらいを目指しているという目標はありますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 財政課としましては、要は予算の柔軟化を図る上では比率は低いほうがよろしいかと考えておりますが、ただし、市の発展に資するような投資の部分、それは当然起債を起こしていきますので、やはりその辺につきましては市長の下、取り組んでまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） その趣旨分かりました。改善するためのポイントが1つあるとすれば、どこを重視すれば改善ができると思いますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 事業を各年度打ち込んでいく中で、取り組んでいく中で、やはり将来的

10年、15年スパンを考えた上で事業計画を、特に公共投資については考えていったほうがよろしいのではないかと考えております。

○委員（内藤法子） 終わります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。令和3年度の予算を上程するタイミングで財政非常事態宣言が発令されました。そのときの理由というのが3点ありました。

暫時休憩してください。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時28分 休憩

9時29分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 理由で幾つかありました3点目、国への補助申請等が令和3年度当初から始まるということで、非常事態宣言を出したという経緯がありますが、3年度中に国等への申請で変更された点というのは何かありますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 昨年の取組の中では、起債をある程度抑制したいというものがございまして、早い段階で、特に建設系の部に対しまして、年間の起債の枠はこの程度で抑えてもらいたいというのは示しております。その中で、県、国を通じて要望を上げていく中で、早い段階である程度次年度の、実際には昨年から言いますと令和4年ですから、次年度の事業規模について検討のほうを行っております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、了解しました。

先ほど第5次総合計画スタートの年で、委員からもちょっと質疑ありましたけれども、5—5—3の部分の健全な財政運営の推進の中で、主な取組に歳入確保という記載があります。何か3年度中に取り組みながら、歳入確保したものってございませうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 ふるさと納税に関しましては、当時企画部、拡大のほうを非常に取り組んでいただいたというふうに捉えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） それは、財政のほうから各課に歳入確保についての取組を推進するような呼びかけをしたということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 財政課といいますか、行政改革推進本部の中で、昨年10月第2期行政改革計画のほうを策定しておりますが、その中でも歳入確保については重要な取組というふうに位置づけておりますので、推進本部のほうから各部のほうで検討を進めるようにということでお伝えしております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 同じく主な取組、歳出抑制、この部分で財政課自身が取り組まれた点というのは何かございますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 これも、もう推進本部の中で歳出抑制、地方自治法の中では最少の経費で最大の効果を挙げるといふふうにならされておりますので、その原点に立ち返って取り組むようにということで、指示のほうは出してあります。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 指示のほう出しているというのは、全庁的に指示を出されたということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 全庁的に話をしているということでございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 34ページ、お願いいたします。健全化判断比率、報告ございましたけれども、将来負担比率の部分、改善はあるものの目標値が27%以下ということになっております。令和3年度が47.8%ということで、この点についての評価をどのように捉えていらっしゃるでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 27%は理想値、要は国のほうが指導するような数値的なことでございますので、やはり市の発展を資するためには今後も起債のほうは進めていくことでございます。そういった中で、どの辺のバランスを取っていくのかというのは今後の検討課題となっております。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、了解しました。

40ページ、お願いいたします。指定管理の関係です。選定評価委員会を令和4年度より各部署のほうに移管するということですが、3年度中はどのような検討がされた中で、そのような判断になったのかお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 昨年、行政改革のほうで取り組んでいた中で、やはり指定管理者、それから各施設の状況、これを一番把握しているのは担当課、施設所管課になります。そうした中で、制度を所管する課がさすがに業者間とのやり取り、直接にはできませんので、要は間接的な打合せ等も多くなってしまいました。そういった中で、現実的な対応といたしまして、選定評価委員会につきましては、施設所管課のほうに移したものでございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 少し、今度になります。今後、財政課として関わっていくということは、この先ないということよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 制度所管課、制度の改正等がまた今後もあると思います。そういった中で、全ての所管課に対してそういった周知、そういった取りまとめ、周知、それから国のほうからも調査ものが来ますので、全体調整を図る上でも財政課が所管していくと、制度のほうは見ていくということを考えております。

以上です。

○委員（賀茂博美） はい、分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） お願いします。37ページの調書の公共施設マネジメント基金へ土地開発基金を廃止して積立てをしているのですよね。それと並行して、同時に土地開発公社の関係をどうする、こうするという議論はありましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 公社に関しましては、現在まだ保有地のほうがございます。そういった処分のほうがされていくのかどうかという議論を踏まえた上で、今後検討していくとなろうかと思えます。ただ、私ども財政課のほうは所管課ではございませんので、また担当課のほうで議論のほうをさせていただきたいと考えております。

以上です。

（「暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時35分 休憩

9時35分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 35ページの借入金の関係のところですけども、利率が0.195があったり、0.500があったり、市中銀行があったり、政府系があったりする



のですけれども、この政府系金融機関のほうは起債をするときの指示があるのでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 暫時休憩願います。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時36分 休憩

9時37分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
財政課長。

- 財政課長 政府系ですと20年、民間系だと10年だとかという条件ございますので、それから借り入れる事業そのものを見ながら財政のほうで検討しているということになります。

以上です。

- 副委員長（勝又利裕） 了解。もう一点、委員長。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 副委員長（勝又利裕） すみません。調書の14ページのところなのですが、人件費があります。一般会計の総額に対する比率が出ていますけれども、この人件費の比率、今回16%ということになってはいますけれども、この辺の比率の考え方、要するにどのぐらいが妥当かというような判断はあるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 人件費につきましては、義務的経費になります。義務的経費は、いわゆるもう固定されてしまいますので、なるべくそれが少ないには越したことがないというふうに考えております。ただし、人勸等ございますので、財政だけの判断でこれをいじれるものではないというふうに考えております。

以上です。

- 副委員長（勝又利裕） 了解です。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 40ページの指定管理者等の制度に関連してお尋ねします。今回行政は、最少の経費で最大の効果をということを強調されております。でも、これまでの行革の中では、とにかく最少の経費でということはすごく強調されていたように思います。この本来の姿勢に戻る、最少の経費で最大の効果をというような、この変化というか、決算の中でその辺の見直しというか、そういうものというのはあったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 最少の経費で最大の効果を挙げるという、これは原点でございますので、これは決算の中ではなくて、昨年に行革の中で再度周知徹底を図ったというもので

ございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、指定管理者制度について、この原点から見てどうであったかというような、その辺の検証みたいなものもあったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 指定管理につきましては、昨年のFM計画の改定の中でも、指定管理にしたほうがいい、民間に委託したほうがいいのであれば民間に委託していくと、これにつきましてはケース・バイ・ケース、法律的、もちろん市民にとって利益がある管理方法の選定を行っていくというふうにしておりますので、一概に指定管理がいいというふうには考えておりませんが、基本的には民間にできるものは民間に委託していくというのが第2期行革計画にも入れておりますので、そういった中で財政課が今後制度所管課としてやりますが、基本的には全ての施設について民間の管理を検討していくと、一度検討してみるというのが大切でございますので、今後も主導していきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 40ページに指定管理者の選定評価委員会の中で、文化施設3年目についての審議、モニタリングされたということですがけれども、この内容はどのような方向性のものだったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 モニタリングは、選定から3年目になります。その選定した業者がこちらの公募条件に沿った形で運営をしているかどうか、それからより効果的な、市民にとっても効率的な、市民にとっても利益のあるような管理方法をしているのかというのをモニタリングしております。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

次に、分科会外委員の質疑をお受けいたします。

井出議員。

○委員外議員（井出 悟） よろしく申し上げます。2点ありますので、お願いします。

まず、1点目です。調書で言うと36ページ、予算書で言うと10ページですけれども、公債費のところです。地方債の償還が24億余りということで、今高止まりというのか、結構高い水準を示しているのですが、この中で、例えば実質的な償還年限の範囲内で短くしているものだとか、例えば建物なんかの起債なんかで、建物の耐用

年数より短い起債で起こしているようなものとかというのはありますか、かなり。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 政府系のものが、先ほどお答えいたしました、最大で20年というのがあります。当然建物、コンクリート等は60年、70年、と現実にはもちますので、そういった償却が短いものは当然ございます。ただ、基本的に例えば60年償還というものは現実的ではございませんので、20年のものを最大限利用させていただいております。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） ということは、今回例えば36ページで起債している様々なものの中で、例えば借換債を使って市民の負担の平準化を図るというか、そういうものはないということでしょうか。そういうことができるようなものはないと。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 借り換えにつきましては、過去借りたもので率がもし高いものがあれば借り換えのほうを検討していきたいというふうに考えているのですが、基本的に政府系のものにつきましては、近年定率のものが続いております、逆に率が最近上がり始めているというような状況もございます。そういった中で、率がもう変わらなくなってしまうぐらいでは借り換えを検討してもちょっと難しいのかなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） ということは、減収補填債だとか、臨財債とかという部分も、たしかこれ民間系で10年とかというちょっと記憶があったのですけれども、この辺りも借り換え年限としては上限だということですね。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 今議員ご指摘の臨財債の関係につきましても、20年償還でございますが、率から言ったら、近年の金利の上昇から加味しますと、慎重な検討を要するのかなというふうに考えております。

それから、平成22年だったかな、大きく借りたものにつきましても、あと数年我慢すれば償還が終わるといふところもございますので、基本的には率を見ながら借り換えのほうを検討していきたいというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） 確認です。今、24億余ということで、公債費が高止まりしているのは、借り換える期限を短くして圧縮したことによって、今公債費が高止まり傾向にあるという認識で間違いはないか確認します。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 今議員のご指摘の中で、圧縮したからということがございましたが、平

成26年度以降、26年、27年、その辺りから当年度の一般会計をなるべく抑えつつ、起債のほうを増やしてきたという経緯もございますので、それだけ公共事業に関しまして起債の率を高めてきたという経緯がございます。そういった中で、現在はちよっと高止まりしているのではないかというふうに捉えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） 了解しました。

では、最後の2点目の視点です。調書の40ページですけれども、指定管理者制度のところですが、これまでも様々な指定管理者の議決をしてきたところではありますけれども、選定評価の過程の中で、選定評価委員会が選定をして、そこから議決するまでの間の部分で様々な課題があったと思います。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時46分 休憩

9時47分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

井出議員。

○委員外議員（井出 悟） この指定管理を選定するための手順の見直しに関しては御課が一元してやるのかなという認識があるのですけれども、こういう部分に関して、例えば課題だとか、何か令和3年度から見直しを検討されているようなこととかがあってありますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 施設、それぞれの所管課におきまして事情が異なる部分もございます。そういった中で、どの事業者が、例えば教育系、スポーツ系、文化系、それからヘルシーパーク、健康、レクリエーション系、精通した事業者がよろしいのか、というのが適切なのかというところは、施設所管課のほうで詳細のほう、今後見ていく必要があるというふうに考えております。そういった中で、施設所管課のほうに選定評価委員会のほうを移管したものでございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） 平たく言うと、選定評価委員会で選定後に、議決するまでの間の情報開示の仕方だとか、議会の議決を求めるための手続方法について、何か課題があるから見直したほうがいいのではないのですかという、平たく言うとそういうことだったのですけれども、そういう認識はないということですね。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 昨年度から今年も我々制度所管課のほうで各施設、所管課と集まって協

議のほうをして、例えば開示を含めて今後はこういった開示のほうを進めていったほうがいいのではないかと。施設所管課を交えて検討のほうは進めております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） 今課長の言われたことは、選定評価に関する要綱等の見直しが必要な部分もあるのではないかという課題意識があるという認識があるということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 評価項目を含めて、それから開示を含めて見直しは必要などころはあるというふうに考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） 最後です。今の選定評価委員会のところで、後に選定評価を定期的に行っていく中で、事業者が選定評価のときに出した様々な提案事項が履行されているかどうかというのは確認するすべがないのですけれども、そういう部分というのは、何か令和3年度中に課題だとか、洗い出してみたいのはありましたか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 令和3年の取組の中で、見直せるものがあれば見直し、ただ実際公募をして、もう選定が終わって動いているものでございますので、あと施設所管課と協議をしながらその辺の見直しを多少なりとも図れたのかなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） ちょっとうまく伝わっていなかったのかもしれませんが、選定評価、指定管理を選定するときに様々な提案が、プラスアルファの部分があったと思うのです。ある事業者がいろいろ出していると思うのですが、そういう部分が後の定期的な評価委員会の中で評価されていないのではないかということです。そういう質問だったのですけれども。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 暫時休憩。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時50分 休憩

9時52分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

財政課長。

○財政課長 公募から選定、そういったモニタリングの段階で、評価項目として担当課のほうで検証しているということになります。

以上です。

○委員長（三富美代子） 井出議員。

○委員外議員（井出 悟） では、改めて確認します。御課が指定管理者制度にまつわる事務局という認識があったのですけれども、指定管理者制度を庁内でコントロールする中で、御課の役割とか責務とかというのはどうなっているのか、もう一回ちょっと整理させてください。再認識、僕もしたいと思います。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 制度所管課でございますので、制度そのものを見ています。それから、全体調整としまして、施設所管課、これを年に最低でも1回集まって制度の確認、それから年間のスケジュール関係等の確認、それから改善点等の確認等を今後行っていくというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） この3年度の予算について反対をしました。今回の決算に当たって、途中で市長選挙があったりして、市政の変化とか、職員の方の努力を見ることはできますが、行革の方向性そのものについて反対の立場、変わらずありますので、この決算についても反対の意見があります。

○委員長（三富美代子） ほかにはよろしいですね。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） それでは、分科会外委員の意見を伺います。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

## 財政課（5号）

○委員長（三富美代子） 財政課長の説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

○委員長（三富美代子） （「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (三富美代子) 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第5号に関する質疑を終わります。

これより認定第5号について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (三富美代子) 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (三富美代子) 以上で認定第5号に関する意見を終わります。

○委員長 (三富美代子) それでは、分科会外委員の意見を伺います。

(「なし」の声あり)

○委員長 (三富美代子) 以上で認定第5号に関する意見を終わります。

○委員長 (三富美代子) 以上で財政課の質疑を終わります

## 秘書課

○委員長（三富美代子） 秘書課長の説明は終わりました。

次に、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。4番の業務委託のところで、裾野市制施行50周年式典のところの随意契約、1号は2社というところなのですが、こちらの随意契約の内容、先ほど説明あったのですが、どういった業者にどういった形で頼んだかというのをちょっと詳しく教えていただけますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 こちらの業務委託につきましては、もともと市内にイベント運営に精通した業者が少ないというところで、そちらに精通しました数少ない市内業者と近隣の業者から見積りを徴収して比較、検討してございます。過去の周年記念式典やオリンピック関連の会場運営等の実績ですとか、安全かつ円滑な業務履行が可能かどうかを判断いたしまして、地方自治法の施行令167条の2第1項第1号に定める少額の契約として、契約のほうをしております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） ありがとうございます。

では、市内業者でそのイベントの何から全てお任せしたというような形でよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 先ほどご説明さしあげました内容につきまして委託をしております。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） 市制50周年に関しまして、昨年度、そのようなあれで取り組んできたと思うのですが、感謝の意を示すですとか、そういったことということで実施されましたが、目的についてはしっかりと達成できているのか、その辺の評価についてどのように捉えていらっしゃるか、お願いします。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 市制施行50周年を記念しまして、まず本市の歩みを振り返るということですか、市の発展にご尽力を賜った方々の功績をたたえるという面では、事業の実施の効果としては達成できたというふうに考えてございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 効果はそのようにということで、対象として広く市民という部



分、一部の市民ではなくて広く市民という部分に対しては、どのように評価していますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 どうしてもこういったイベント事を考えるときに、近年ですとやはり新型コロナウイルス感染症の影響はどうしても免れないかなということでございます。資料でございますとおり、通常文化センターの収容人数の半分ぐらいといいますと、大体500から600ぐらいが目標値になるかと思うのですが、今回もこちらの資料でございますとおり招待としては322名ということで、かなり絞った形となっております。招待者、出席者がその中で230名ということでございますが、周知等につきましては、秘書課としても開催通知ですとか、広く皆さんにお知らせをしまして、通常の状態に達すると言われるとなかなか厳しい面はございますけれども、一定程度の周知に関してはできているというふうに考えてございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。コロナウイルスということの中では、多くの市民にそれを感じてもらえるための工夫という部分も必要ということはあらかじめ分かっていたかと思うのですけれども、その部分に対応する対応について、何かありましたらお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 式典の中で、広く皆様方に式辞やご挨拶、祝辞等頂いたということと、午後から式典に関しては始まったのですけれども、終わりの最後の方で、展示飛行と場外における行事等も企画をいたしまして実施をしたところで、これがイコール100%市民の皆さんに周知が、それに伝わっているかというところは議論があるかとは思いますが、場内の中だけではなくて、周辺の皆様方にも式典の状況が分かるような形で実施をしております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 最後です。ちょっと出てくるかなと思ったのですけれども、3月の審査の際にはネット中継というふうな話が検討ということがありました。実際されたのかどうか、その辺の部分につきまして確認させていただきます。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時09分 休憩

10時10分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

秘書課長。

○秘書課長 ネット配信につきましては検討を重ねた結果、映像の質ですとか、環境が整っていないことを理由に取りやめをしております。

以上です。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） お願いします。業務委託の4番なのですけれども、市長車運転及び運行管理業務委託の、3年度は契約なしだったのですけれども、これでどのような実際には運用ができたのか教えてください。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 令和3年度につきましては、行事等に職員が随行し、また運転も兼ねるような形で事業のほう実施してございます。ただ、令和3年度1月に現市政に変わりました、訪問の件数ですとか、今後イベントの出席の関係等の伸びを見ながら、今年度以降に関しては検討していきたいというふうに考えてございます。令和3年度の事業実績につきましては、特に支障はなかったというふうに考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） コストの面とかいろいろ考えた結果と思うのですけれども、職員もそれなりのコストがかかることと、仕事への影響とかもありますけれども、そんなふうに考えて令和3年度の実態と市長が変わったということで、今後はどのような方向を考えていますか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 先ほどの新型コロナウイルス感染症の影響とも重なるのですけれども、今現在県外ですとか、庁外に出る機会というのがまだ思ったほど、見込みほど復活をしてきていないような状況がございます。その中で運営ができていているという側面もあると思うのですけれども、今後そういった感染症の対策が進み、ウィズコロナの考え方がより進み、こういった出席の件数が伸びてきますと、今の状況とはまた変わってくる段階があるとおります。今後、そういった状況を勘案いたしまして、調査研究のほうを進めてまいりたいと思います。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） その件、了承しました。

6番の表彰関係なのですけれども、50周年ということで、よりたくさん表彰して下さったと思うのですけれども、こういう表彰はどのような形で人材を発掘しているのか教えてください。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 まず、新年度入りまして早々に全庁的に候補者についての選定を各部、

課について依頼をしてございます。その中で提出をされた候補者を秘書課において調査、審査等いたしまして、候補者を選定しているところでございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 従来各課から挙げた方を表彰しているというふうには伺っていました。ただ、市民生活の中にもう少し入り込んで、例えば区長さんたちからも推薦をいただくとか、もっと候補者たくさんの中から選んで、本当に名もなき善行者、そういうふうな方向を市民は願っているのですけれども、そういうことに関してはどうでしょうか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 現行の手法で埋もれた善行者の方がいらっしゃるということは、秘書課としても認識しておりますので、検討してまいりたいと思います。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それでは、その件よろしくお願ひいたします。

最後に1つ、3番の市長交際費の雑というのがありますけれども、これはどのようなものが対象になるのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時14分 休憩

10時14分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

秘書課長。

○秘書課長 市長が庁外へ訪問等する場合の手土産となっております。

以上です。

○委員（内藤法子） 了解いたしました。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 7番のところの負担金についてお尋ねします。下から3つ目に教育再生市長会議とありますけれども、これはどのような会議と認識されているのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時15分 休憩

10時16分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

秘書課主幹。

○秘書課主幹 教育再生をテーマとした勉強会や意見交換会を通じた情報共有、また政府等への政策提言等を目的とした、全国の首長で構成する会議になります。

以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 参加はあくまで任意で、3月議会のときにもお話ししたのですが、県下でも裾野市と静岡市と浜松市、その当時で。今はもっと減っているのではないかと思うのですけれども、こういう形で、あと何年か前のニュースで、ここの負担金のお金がある民間団体の事務局に支出されているというニュースも出されていきました。その辺のところの調査みたいなものというのは、何かされたことはあるのでしょうか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時17分 休憩

10時18分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

秘書課主幹。

○秘書課主幹 首長の意向で参加しております。秘書課としては、調査のほうはしておりません。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、新しく市長が変わった時点で、この会議への対応はどうなったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 秘書課主幹。

○秘書課主幹 市長が就任した後、村田市長に会への参加を継続するかどうかの意向を確認しました。その結果、脱退という形を取っております。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 市長の公務の部分です。先ほど広域的な要望活動についてのお話ありましたが、裾野市独自に県もしくは国に対しての要望活動等は何かされたものはございますか。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時19分 休憩

10時19分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

秘書課長。

○秘書課長 例年、県の予算等につきまして県知事要望行っております。ただし、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の関係で要望書の提出のみにとどまっております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 多分市長は各所で様々な要望活動されていると思いますので、ぜひそういったものを調書に記載していただいたほうが、こういった活動をされているというのが分かりますので、お願いをしたいなと思います。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 併せて企業訪問の部分でお伺いします。コロナの影響でなかなか市内市外企業への訪問というのができていないと思います。調書の49ページにも令和2年、3年と零件続きということなのですけれども、企業に対する訪問でもなくて、何かアクションを起こしたということは何かありましたか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 主要事務事業の中の1、市長の公務状況の中で、企業訪問等に類する部分はその他の部分で内訳のほうを記載してございます。確かに新型コロナウイルス等の影響で直接の訪問という意味ではなかったのですけれども、全庁的にやはりオンラインの会議等も活発になってきておりまして、企業さんとの接触という面ではそういったものを活用しながら、市長の公務の実績として行ったりもしてございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、分かりました。

5番の感謝状の件について伺います。先ほどの説明で市長表彰のほうの対象外になられた方への感謝状ということでした。3年度は1人5団体ですけれども、この表彰の基準を教えてくださいませんか。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時21分 休憩

10時22分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

秘書課長。

○秘書課長 まず、10万円以上100万円未満の寄附をした個人、また団体のほうでは50万円以上300万円未満の寄附をした団体ということになってございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 基本的には寄附者に対する感謝状ということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 そのとおりでございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 確認です。これは、何で規定されていますか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 秘書課における内規で規定をされております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 内規ということは、公開はされていない内容ということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 そのとおりでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） これは、感謝状贈呈は受け取る側の意思確認はされるものですか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 確認はしてございます。

○委員（賀茂博美） はい、分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で秘書課の質疑を終わります。

## 戦略推進課

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長の説明は終わりました。

次に、質疑に入りますが、質疑、答弁とも簡潔によろしくお願いいたします。

それでは、質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。21ページになります。市民意識調査について伺います。令和3年度の調査対象人数が1,000人となっておりますが、対象の年齢層及び男女比とかは分かるでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 暫時休憩願います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時40分 休憩

10時40分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

戦略推進課長。

○戦略推進課長 今回は、調査方法としまして、市内在住の20歳以上の男女1,000人です。抽出方法が無作為抽出方法となっております。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。無作為ということで、令和2年、3年と回収率が56%強ということですが、この回収率については適正だと思っているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 回収率については適当と判断しております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 56%、適正ということで、この調査をしまして、ちょっと出ていますけれども、具体的にどのように生かしていくかをもうちょっと教えていただきたいと思えます。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時41分 休憩

10時42分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

木村委員。

○委員（木村典由） すみません。この調査をどのように生かしたかを教えてください。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 令和3年度中に行いました調査結果となりますので、令和4年度、またそれ以降の行政運営のほうに反映する形で生かしております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） では、次、24ページになります。24ページの7番、SDCC構想の具現化、データ活用、データ利活用推進の執行実績が示されておりますが、こちらの取組、SDCC自体は非常にいい取組だと思っておりますけれども、市内の方の認識はかなり薄く感じます。話をしても、何それという方がすごくたくさんいると思うのですけれども、今後市民への周知をどのようにしていくとか、していったかということをお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 SDCC構想につきましては、確かに議員の言われるとおり、どうしても媒体自体がいわゆるインターネット上等での広報という形となっております。また、なかなか予算都合等で具現化というところまで結びつけるのが難しい状況です。今後はこちらのある程度抽出した上で実行に移し、そのときにまたこれはSDCC構想の関連の業務だったのだよという形で広報できればなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

次、25ページです。11番の定住移住の取組のところ、移住者世帯数が令和2年ゼロ組に対して、令和3年は一応3組ということになっているのですけれども、移住セミナーの相談件数とかを見ても、移住者世帯数の結果がちょっと全体的に少ない、この辺をどういうふうにお考えでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 令和3年度の状況を見ますと記載させていただいたとおり、オンラインだよというところが難しさを感じるところでございます。しかし、恐らく議員の皆様も他市町の状況を見ながらも当市の状況をとという話になっております。特に先ほど申し上げました令和4年度につきましては、分散して業務を行っていた課のほうを私のほうの課に統一させて、情報共有を図りながら進みたいというふうに考えております。その点がなかなか3年度までの実績が出なかった要因だと考えております。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしくお願ひいたします。調書24ページです。SDCC構想の具現化というところになるのですが、これ総合計画の5-3-1、データの利活



用の推進ということであると思うのですけれども、先ほどの説明の中で、予算の関係で実施難しいというような説明だったと思うのですが、先方の実証実験という中で進めてくるような話が以前に説明があったと思うのですけれども、令和3年度についてはその辺の先方の実証実験の中での進め方でやっていただくということに對しまして、御課はどのように取り組まれましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 SDCC構想というのは、議員言われている実証実験の流れの中で行っております。ただし、それを実施に向けてという形になりますと、果たして市が予算を持つべきかどうかというような内容も多々ございます。そのときに表の中、7月12日にデジタル裾野の輪というもの、これは何名か委員の皆様も出席していただいておりますが、市を介さずに実施に向けられるような形で、問題解決者と問題を持っている方が直結で連携するような形が取ればなという形で動きを行っております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 実証実験に向けまして予算を持つべきかということについては、持たなくてもできる手法ということで、今デジタル裾野の輪が1つ紹介されたと思うのですけれども、根本的に全体的なものとしたしまして、予算を持たずして実施に結びつけるというふうな点につきまして、課のほうで取り組まれた内容を改めてお願いします。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 やはり予算を持たずしてという形で、逆に事業者側のほうと交渉はしているところがございますが、なかなかやはり民間事業者様についてはお金が出ないようであればという形で、若干距離が出てしまうというのが現状でございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） その距離が出てしまう部分を多分工夫のところである程度フォローしていこうというふうなことが令和3年度は取り組まれているかと思うのですが、その部分ご紹介いただければと思います。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 どうしても行財政構造改革という部分がある中でございます。予算確保という形で要望をしていくわけなのですが、他の事業とのバランスというところで、確保ができなかったのかなという状況になります。

以上です。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時48分 休憩

10時49分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

戦略推進課長。

○戦略推進課長 事業化に向けては、金銭面のお話もありますが、事業者との関係づくりについて当課では努力してきたところでございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

あとその結果につきましてなのですが、様々地域に落とし込みというか、市民がその利益を享受するということが大事というふうなことが大前提であろうかと思うのですが、落とし込みの実現につきましての協議については、どのような協議があったのかお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 すみません。先ほど来お話ししてありますとおり、実証実験までは可能であったのですが、その後というところになりますと、市民のためにはなるのですが、どうしても事業者側からのほうのお金の話というものが出てきてしまいます。ですもので、落とし込みというものについては、ここで止めるわけではなく、今後実証実験に向けてという形で導入の機会を継続するという状況が続いてございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

次のページ、25ページ、定住移住のところになります。先ほどちょっと説明ありましたけれども、3組の定住ということで今回記載があります。移住者です。これというのは、移住セミナーに参加された方が定住に結びついたのか、ちょっとその辺のところをお願いします。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 直接移住者という、セミナーの参加者ということではございません。住所の変異等を確認しながら、別途調査の結果がこちらになっております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

では、ちょっと次に行きます。26ページお願いします。電算事務費のところなのですが、大きなハードウェアについては記載があるのですが、様々こういったものにはマウスだったり、何か細かいものも含まれてくると思うのですが、その辺につきましての対応は、令和3年度はどのような形で行われていますでしょ

うか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 こちらのいわゆる諸経費についてでございますが、なかなか単年度で物事を見直すというのが、万が一のこともございます。難しい状況でございます。説明にもさせていただきますが、特段令和2年度に対して金額が大きく変わるような動きというのはございませんでした。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時52分 休憩

10時53分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

戦略推進課長。

○戦略推進課長 記載のない消耗品等の対応については、例年と同様な動きになりました。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 例年と同じ動きというのは、どのような対応になるのでしょうか、もう少し具体的にお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時53分 休憩

10時54分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

戦略推進課係長。

○戦略推進課係長 消耗品の内訳につきましては、ネットワーク機器、電源ですとかPCの修繕に係るような消耗品の購入をしております。マウス等のそういった細かいものにつきましては、予防交換用に購入をしてあるもの等もございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） おおむね分かりました。

あと29ページをお願いします。行財政構造改革、行財政事務の合理化等で主要事務事業ということで、1の（1）に記載があるのですけれども、年度末にデスクネットによる庁内啓発ということなのですが、これは年度末に行うタイミングにつきまして、どのような意図があるのかをお願いします。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 すみません。これは、単年度での業務という状況にはございません。ただし、4S活動については、年度末に行うことによって、各種年度の切替え等の

書類の整理、また職員移動というものもございますので、それを機にしっかりやろうというタイミングで、これを発行しております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、年度当初よりも年度末がいいから、このタイミングでやっているということによろしいのですよね。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 委員のおっしゃるとおりです。

○委員（杉山茂規） 分かりました。一旦終わります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） お願いします。24ページのSDCC構想なのですが、これは、すごく注目を浴びているいろんな事業者さんが参加してくれたと思います。今日の説明を聞いていますと、実証実験の関係づくりのためということ、ただし今後予算が必要とする関係継続はしないというふうに私は受け取れたのですが、間違いはないですか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 やはり委員おっしゃられるとおり、SDCC構想というのはかなりのインパクトがございます。ですもので、多くの事業者様のほうからお話をいただくところがございますが、その中で本当にお付き合いができるのがどこなのかというのを確認しながら、今までは実証実験だったのですが、今後は実施に向けて市の政策として、これは本当に必要だよというものについてはお金をお支払いしてでも導入すべきというような考えではございます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 先ほどの答弁では、予算がつくとちょっとという感じでしたので、心配しましたが、確かに予算が必要でもやったほうがいいということはこの中にたくさんあります。例えばDXに関するものとか、デジタル裾野の輪で頑張っていることとか、ぜひそれは予算化、今回の決算を見て必要なものに対しては検討していただきたいと思います。これは意見です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 25ページです。（4）で移住就業支援事業が令和2年、3年と申請者ゼロが続いています。このことについて、やり方とか、何か見直す点があったのか、そういったことは検討していないでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 たび重なりますが、やはり担当課がばらばらになってしまったというのと、あと職員側にもなるべくこれを専門に扱えるような寄り添う体制が必要であったのではないかと考えております。反省面がございますもので、4年度につい

ては全く専門というわけではないのですが、専任の職員が事業を進めているところ  
です。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それは理解しました。期待しております。

では、最後にもう一つなのですが、22ページの高齢者バス・タクシー利用助成事  
業です。令和3年度は65.8%に伸びましたけれども、市としてはこの数値、どれく  
らいを思想としているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 市のほうで数値を定めるというような発想は持っておりません。や  
はり必要な方が交付を受けていただき、必要な方が利用していただけているとい  
うような形で数字は捉えてございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 今必要な方が交付を受けていただきとおっしゃいました。そも  
そも公共交通がないという、必要な方が市役所に取り来ないといけないというこ  
とに関してはどのようにお考えでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 実際、今年度に入りまして、実務をしている中で、そういうご意見  
はいただいているところでございます。今後、他市町の交付の状況なんかも参考に  
しながら、改善を考えてはおります。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それ1つ改善していただいて、もう一つ改善なのですが、市民  
の声ですが、長泉、沼津などの近隣では、例えば2,000円なら一遍に使っていいとい  
う。一度に200円ではとても。例えば予防接種往復でも200円ではとても足りない、  
2,000円は超えるのだという声もあります。決算を迎えてこの辺の改善というのは、  
何かお考えでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 金銭面のお話を申し上げますと、ある意味福祉的な発想になってご  
ざいます。都市のバス・タクシー助成券については、やはり公共交通を度々使って  
いただいて、その交通網の確保という発想で行っております。そのため、一括での  
利用は現在の段階では駄目というような考え方で進めております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） その考えは、ひとつ分かりますけれども、1回200円ということ  
ではなく、例えばタクシーの初乗り料金とか、もう少し基準を上げていただくとい  
うことを考えていただきたいのですが、そのような議論もなかったということとし

ようか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 初乗り料金というお話は聞いているところでございます。しかしながら、行財政構造改革中というところもございまして、そちらは今年度、基本70歳以上の市民が対象であるという、全域に拡大しましたので、そちらの実績を見ながら予算編成の際に検討しなければならないと思っております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 最後に、今の答弁をお聞きしていると、やっぱり役所の発想、福祉の視点で、いろいろ理由はありますけれども、役所目線と市民目線のずれが感じるので。市民目線日本一ということですので、ここは考えていただきたいということで、意見で終わります。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 24ページ、先ほど来委員から出ていますSDCCの件について伺います。令和4年1月24日現在で84社の記載がホームページ上はされていますけれども、令和3年度中、この84社の企業様との意見交換、お会いしている実績というのはどのぐらいありますか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 個別の事業者との面会自体を、回数計測は行っておりません。しかし、デジタル裾野研究会というのをオープンな状況で開催しておりますので、そちらのほうに随時参加していただくというような接触の仕方になっております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 登録いただいている企業様と裾野市との関係が、3年度中一度もなかったという企業はないというふうな認識でよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 事業者様側のほうからデジタル裾野研究会を開催するということの告知を受けた結果、参加しない、正直なところ興味を示されないというものはあると思いますので、一度も接触していないという企業様もあります。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） SDCC構想の市の考え方と、企業様の応募されたときの考え方で少しずれがもしあったような企業があった場合に、今後このSDCCに関わるかどうかの意向確認というのは、特に何かされたことはありますか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課主幹。

○戦略推進課主幹 先ほど企業側からは、入会に際して提案書をいただいております。

ですので、提案書をいただいたらまずそこでヒアリングを行いますので、1回は必ず接触はしています。

以上です。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時05分 休憩

11時05分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

戦略推進課主幹。

○戦略推進課主幹 意向の確認は、辞める際に退会届というものを出していただくような形になりますので、それが出来ない限りは継続というような扱いをしています。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。デジタル裾野の輪等で様々な取組をしてくださっているのは確認をしています。先ほど実走に移動したものが1件というお話がありました。この3年度中取り組まれた中で、実走に向けて動き出しているものというのは何件かありますか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時06分 休憩

11時07分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

戦略推進課長。

○戦略推進課長 現在のところは、先ほどご紹介しました2月1日のあいおいニッセイ同和損保様との交通安全マップの活用というものに限られております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 様々な取組を企業様と検討している最中だと思いますので、期待しています。よろしくお願ひします。

もう一点、委員長。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 同じく24ページの9のところ。国土利用計画等の届出の中の一番下、工業用地が8件あります。お話しできる範囲で構いませんので、具体的なものが分かればお伝えいただけますか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 かなりの面積が届出が出ているところですが、一番大きいものについては、これは公表されています。公開されている状況ですが、富沢地区に油圧機器の部品を作る工場が届出を出されております。かなりの面積、

こちらが占めてございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 現在の工場がさらに拡大ということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 複数の工場を市外にも持っている事業者が集約して裾野のほうに出るといようなこととございます

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件は了解しました。

隣の25ページお願いいたします。11番、定住移住の取組ということで何点か記載がありますが、定住に対する取組、具体的にどんなものがあつたかお願いします。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 すみません。本来でしたらもう少しここでアピールするべきなのですが、過日来ご審議いただいている、やはり御宿の土地区画整理というのは定住に資するものかと思われま。また、市のほうで施工を行わなくても民間開発業者がかなりの割合で宅地分譲が行われているのかなという形で、そういうところはほかの部署になりますが、ご紹介、あの辺でやっていそうですよというようなレベルですが、ご紹介しているのかなと思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件は分かりました。

移住3件ございましたけれども、移住された方へのフォローというのは、戦略推進課のほうで継続されるような取組がありましたか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 先ほど同僚議員のご質問からありましたが、セミナー経由での移住という形にはなっておりませんので、この3件の方については特段のフォローというのはございません。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この3件移住という、この基準というのですか、暫時休憩してください。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時10分 休憩

11時10分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この3組は、どのような基準に基づいた件数の計上になります



か。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 今そのご質問に対する資料のほうが用意できませんので、後ほど回答させていただきます。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時11分 休憩

11時12分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

戦略推進課長。

○戦略推進課長 県に調査報告をしております、そちらのルールが、県外からの移住者のみを記入をお願いしますということです。移住者の定義としますと、県または市町等の相談窓口や施策を通じて移住した方という形になっております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ということは、県もしくは市の相談窓口を一度はご利用された方が裾野市に移住されたという定義でよろしいのですか。

○委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

○戦略推進課長 委員の言われるとおりでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

29ページ、行政改革の部分でお伺いします。様々取組されてきているのですけれども、職員の皆さんに対する意識づけという、何か取り組まれた点というのがありますか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時13分 休憩

11時13分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

市長戦略部長。

○市長戦略部長 全庁の職員に向けては、庁議もしくは行革推進本部終了後の機会を捉えまして、事あるごとに繰り返し、たとえ同じような内容になっても行財政構造改革を職員一丸になって進めるというのを啓発していたところがございます。

以上です。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

勝又委員。

- 副委員長（勝又利裕） 休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時14分 休憩

11時14分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。

勝又委員。

- 副委員長（勝又利裕） 土地開発公社の関係ですけれども、令和3年度で土地開発基金が廃止されて、公共施設マネジメント基金積み立てられたけれども、同時に土地開発公社の今後について何か議論ありましたでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略推進課長。
- 戦略推進課長 土地開発基金の廃止と土地開発公社の存続についてなのですが、全国的に現在どちらかを存続させるという流れがございます。関連する事業課のほうにはその旨をヒアリングが行われまして、結果的には土地開発公社については継続、土地開発基金についてはFM基金のほうへ移行というような結果が出ております。以上です。

- 委員長（三富美代子） 勝又委員。

- 副委員長（勝又利裕） 了解しました。

もう一点、22ページですけれども、御殿場線の利活用促進協議会がありますけれども、今現在、裾野、岩波駅周辺整備をやっています。そういった中で、御殿場線当然利用してくるのだけれども、その辺の御殿場線に特に特化した活動というのは、令和3年度で特にありましたでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 戦略推進課長。

- 戦略推進課長 私どもの課については、公共交通という立場でJR様と協議をしていきます。その中では、一分やはりウーブンシティ等の言葉を使っております。逆にJR様のほうも該当エリアがかなり発展していくという形で、あちらからこちらのほうに問合せ等をいただく場合がございます。

以上です。

- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

岡本委員。

- 委員（岡本和枝） 私もこのJR等への要望活動、具体的な内容と、それに対してどういう対応だったのか。

- 委員長（三富美代子） 一問一答方式なので。

- 委員（岡本和枝） それでは、どのような具体的な要望活動をされたのでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時17分 休憩

11時17分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

市長戦略部長。

○市長戦略部長 JR静岡支社のほうに出向きまして、大きくは深良の新駅の設置という話、それからもう一つはトイレに関して少し年数がたっているものですから、改修ができないかと、こういったことについてもお願いをしてまいりました。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） トイレというのは、裾野駅と、それから岩波駅のことなのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市長戦略部長。

○市長戦略部長 特に裾野駅のほうが大分染みている感じがございますので、こちらのほうの対応が何かできないかということで、お願いをしてきました。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、岩波駅のほうで、下の入り口というか、上ではなくて下のほうにトイレをとというような要望みたいなものは、何かされてはいなかったですか。

○委員長（三富美代子） 市長戦略部長。

○市長戦略部長 そちらのほうは特に申し上げておりません。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、それらに対して3年度中に対応等はあったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市長戦略部長。

○市長戦略部長 すみません。ちょっと五月雨な回答で大変恐縮でございますが、比較的早く回答いただいたのは草刈りの件、こちらは比較的早く対応いただいたのかなど。それ以外につきましては、JR側についても費用の面もありますのでということで、今後の検討というところで回答をいただいております。

○委員（岡本和枝） 分かりました。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意

見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (三富美代子) 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (三富美代子) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で戦略推進課の質疑を終わります。

## 情報発信課

○委員長（三富美代子） 情報発信課長の説明は終わりました。質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。41ページです。ホームページとインターネットについてなのですけれども、その中でバナー広告についてですが、9件となっているのですけれども、こちらの広告得られるのはどれぐらい得られるか教えてください。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 広告費については、ウェブ、広報紙、カレンダーとセットで契約をしていますので、割合としては数字を持っておりませんが、この3点セットで170万円で広告費として計上させていただいています。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） これは、バナー広告を扱っているところは、恐らく株式会社ウィットさんというところで間違いはないですか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時28分 休憩

11時28分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。  
情報開発課長。

○情報発信課長 昨年度の業者については、ちょっと手持ちがありませんので、後で報告させていただきます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） ちょっとバナー広告のところに入っていったときに、申込みというところがあって、そこがウィットさんという会社だったので、先ほどセットだということだったので、ではその会社が1件やっているのかなということ聞いてたのですけれども、このバナー広告自体を増やしていく、割と広告収入的にはいいお金になっていくと思うのですけれども、この増やす努力というのは市でやるのか、その委託業者がやるのか、どちらがやっていくということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 暫時休憩でいいですか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時29分 休憩

11時30分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

情報開発課長。

○情報発信課長 こちらでは、面積的な部分を業者さんのほうに提供しておりますので、会社の数であったりとか、回数であったりとかというところは、事業者さんのほうで求めているところです。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） では、市として増やしていきたいという例えば方向性があるとしたら、その委託の業者さんに対してもっと増やすような努力をしてくれというような手続というか、その呼びかけはしているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 それはしております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 本当に結構バナー広告自体、頑張っていけばいいお金になっていくと思うので、市としても積極的に働きかけて頑張っていたきたいと思います。

次に、44ページの個別受信機外部アンテナ設置保守点検作業の委託のところ、令和3年度、33件、39万6,013円で、1件当たりの単価が令和2年度に比べて倍以上になっているのですが、この要因を教えてください。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 無線機の修理というのは、無線機個別のものであったりとか、あとは外部アンテナ、ダイポールと言われるものがございしますが、そちらの修理であったりとか様々ですので、年度によって単価は変動することは承知しているところです。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 本当に1件当たり倍以上の金額ということで、その内容までは把握されているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 こちらで明細は把握しております。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

○情報発信課長 いいですか、委員長。

○委員長（三富美代子） 発言ですか。

○情報発信課長 はい。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 先ほどの広告の代理店ですけれども、今年度はウィットさんなのですけれども、昨年度は株式会社トーコーさんというところで、違う会社になっております。

○委員長（三富美代子） 答弁漏れですね、先ほどの。

○情報発信課長 はい。

○委員長（三富美代子） よろしいでしょうか。

それでは、ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしくお願ひします。42ページ、お願ひします。主要事業の2、フィルム・コミッションの関係になるのですけれども、大幅に件数が増えていることで喜ばしいのですけれども、これに伴います経済効果につきましてはどのように分析されていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 経済効果については、ある程度数字的な広告ですとか、あと宿泊費であるとか、市内のお弁当、そういったところの業者さんを使っているとか、そういったところから出させていたいただいております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 大体把握はされているということで、分かりました。

今後永遠につながるという意味で、令和3年度、この部分をもうちょっと改善するといいいんのではないかという、そのような議論等がありましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 ロケ地、ロケをしているその場ではなかなか人に来ていただくということは、いろいろな著作権上、難しいところがございますので、終わった後にこういったロケ地がありますよとかというところで、市外の人に来ていただけるようなところで、今年度になります、ロケ地のアプリを作成させていただいて、そこに改めて外から来ていただけるような仕組みというのをつくらせていただきました。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ちゃんと改善につながっているということで、よかったです。

43ページをお願いいたします。1の（3）の臨時放送、お悔やみ放送とかなのですけれども、こちらお悔やみ放送で言うと、例えば職員が放送しているときがあるのですが、その目的、なぜ職員がやられているのかというところをご説明ください。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 通常の定時放送は委託でアナウンサーさんをお願いをしております。お悔やみ放送は、その日に届けられた死亡届と依頼書によって放送をしますので、その日の夕方、臨時的に放送しなければなりませんので、職員がやっております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

職員が放送、話されるときの話し方とか、マニュアル的なものというのはあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 はい、ございます。

- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 読み上げ速度に関するものというのは、記載とかありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 情報発信課長。
- 情報発信課長 速度は、特に何分というのは決まっておりませんが、なるべくゆっくりというところで、聞きやすいようにというところは職員のほうに伝えてあります。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 伝えてあるということで、分かりました。実際にそういったものを、例えばご自身がしゃべられたものを書き取れるかどうかの検証、振り返りというのは行っているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 情報発信課長。
- 情報発信課長 書きとめであるとか、振り返りというのは特に行っておりませんが、放送を録音したときには、1回自分で聞き直しをして、これでいいかというところは確認をしています。私どものほうでは、職員が毎回の無線、定時の放送で流れるものも確認して聞いております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） また、今後は書き取れるかどうかのところも見ていただきながらやっていたらと思います。
- 以上です。
- 情報発信課長 ありがとうございます。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） お願いします。41ページなのですけれども、3番のホームページとインターネット、これこれから、今でも大切なツールだと思います。投稿件数がそれぞれ出ていますけれども、この投稿に関しての返信というのはどのようにしているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 情報発信課長。
- 情報発信課長 返信というのは、こちらからは特にしておりませんで、基本的には投稿のみになります。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） その中で、市政に対してこれはやっぱり……
- 委員長（三富美代子） 内藤委員、もう少し口元に近づけて。
- 委員（内藤法子） はい。その中でも、市政にとってこれは返信というか、検討したほうがいいのかというものはなかったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 情報発信課長。
- 情報発信課長 ラインはもともとが発信だけができるというシステムになっておりますので、返信はございません。フェイスブックにつきましては、コメントをいた



だいているところというのは、私どものほうで見させていただいて、検討を課内でしているものもございます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 中で検討するものもあったよというお返事でした。ラインは、そもそも返信は要らないということですが、やっぱりこの中で必要な、重要なコメントというのは取り上げて検討していただきたいということで、終わります。それでは、もう一つなのですから……

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 42ページのその他の取組で、屋上緑化、東京駅常盤橋エリアの市PR用の広告物設置、これ屋上緑化のことと思いますが、これの効果は令和3年度どのように判断というか、振り返っているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 私どものほうは、薄層緑化の部分は農林振興課のほうで実施をしておりますので、そちらについてはこちらでお答えするものではないかと思いますが、看板を情報発信課のほうでつけさせていただいております。看板については、QRコードをつけておりますので、そのアクセスログを取っておりますが、ちなみに令和3年度は198件になっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 看板のほうを管理しているということは分かりました。198件のQRコードがあったということですが、この件数はどのように評価していますか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 198件が多いかどうかというのは、比べるものがあるのですが、ちなみに令和2年度は188件となっておりますので、少し多少増えているということですが、令和元年度に設置をさせていただいてから、同じ看板が3年間というところがございまして、なかなかそれを3年間継続的に見ていただけるとするのは難しかったかなというところは感じております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 3年間継続した最後の年だろうと思いますけれども、これを今後どのようにしようと、この効果を見てどのようにしようという議論はありましたか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 こちらは、もともとは移住定住の目的をもって設置をされているところですので、そういったところで外に発信していくというところの1つの媒体として検証していきたいなと思っております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） なかなか移住定住に結びつかなかったというのが今までの審査でありました。また、様々な手法を検討していただくようお願いして、終わります。

す。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。41ページのところです。特定財源のところでお聞きします。令和3年度、市政カレンダーのガバメントクラウドファンディングを裾野市として初めて取り組んだと思います。その成果は、どれほどだったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 ガバメントクラウドファンディングの歳入としては、97万3,000円でした。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） カレンダー製作の総費用、すみません、教えていただいてもよろしいですか。すみません、200万でしたっけ。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時42分 休憩

11時43分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 先ほどの質疑、聞き方をちょっと変えさせていただきます。ガバメントクラウドファンディングの目標額はお幾らだったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 100万です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） では、おおむね目標には達成できたという評価でよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 はい、おおむねよろしいかと思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この令和3年度の評価も受けて、次年度も続けているということでもよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 今年度もガバメントクラウドファンディングをさせていただいてのところでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 市政カレンダーに限らず、その他事業にも広げていこうというような検討が特に何かされましたか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 情報発信課の中では、今のところございません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、分かりました。

3番のホームページ、インターネットの件です。様々な情報を様々な媒体を使って伝えるということは非常に大切だと思っておりますけれども、フェイスブック、ライン、その他の発信ツールを何か検討されたことはございますか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 今年度になってからですが、木村議員から6月に一般質問をいただいておりまして、ツイッターですとか、そういったところも検討をさせていただいて、情報発信を今年度はさせていただいております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 投稿の内容というのは、一律同じようなものを様々な媒体で流すという考え方でよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 ツイッターですとか、フェイスブック、主にツイッターは外の人、市外、県外の人たちに発信できるような大きいイベントを中心に発信をしています。フェイスブックについては、いろいろな市の行事の報告であるとか、表敬訪問であるとか、そういった広報紙やホームページで細かいところまで載せられない部分についての報告を日々させていただく。ラインについては、募集であるとか、そういったお知らせ、そういった市民に対してのお知らせというところを中心にやっております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 媒体によって情報を分けているということは理解しました。

では、災害時のときの対応としてはどのようなことを実施されましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

○情報発信課長 災害時は、基本的にはこちらから発信する部分に関しては広報無線機が中心になります。ただ、大きい災害、台風なんかで被害が出ているとかというところは、ツイッターであるとかフェイスブックというのは、こちらのほうでもできる限り確認はさせていただいております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、了解いたしました。

先ほど出ました個別受信機、無線機の話です。43ページになりますか。これは、災害時等でも非常に役立つものということで、なるべく市民の皆さんにお使いいただきたいと思っておりますけれども、その点について何か工夫をされたとか、多くの方にご利用いただけるような取組をされたことがありましたらお願いします。

○委員長（三富美代子） 情報発信課長。

- 情報発信課長　こちらは、毎年にはなりますが、広報紙に定期的に無線機のご案内を2分の1ページという枠を取らせていただいております。また、市民課においては、転入時には広報無線機のご案内をさせていただいたりであるとか、今朝交通安全のお子さんがお話をしていますが、ああいったことによって今まで無線機を持っていなかった親御さんが子供の声を聞きたいというところで借りに来ていただくなどをしている部分もございまして、そういったところで広報無線機をなるべく多くの人に借りていただけるようにというところでやっております。
- 委員長（三富美代子）　賀茂委員。
- 委員（賀茂博美）　取組について分かりました。令和2年度の決算時、大体65%の世帯に普及はされているというお話伺いました。3年度1年間で普及率というのは向上したかどうかというのは確認できますか。
- 委員長（三富美代子）　情報発信課長。
- 情報発信課長　広報無線機については、残念ですが、急激に上がっているというところはなくて、同じくらいのところを推移しているというのが現状でございます。
- 委員長（三富美代子）　賀茂委員。
- 委員（賀茂博美）　なるべく多くの方に設置いただくようお願いいたします。  
併せて44ページになります。個別受信機のデジタル化ということで、複数年の計画でこれ進めていたかと思いますが、令和3年度末でどの程度、大まかで構いません、デジタル化が進みましたでしょうか。
- 委員長（三富美代子）　情報発信課長。
- 情報発信課長　令和2年度からスタートしておりますが、令和2年度に1,400台、令和3年度に236台というところで、1,636台が現在更新ができています。
- 委員長（三富美代子）　賀茂委員。
- 委員（賀茂博美）　この計画は何年計画でしたか。
- 委員長（三富美代子）　情報発信課長。
- 情報発信課長　令和10年度までの9年間の計画になっております。
- 委員（賀茂博美）　分かりました。ありがとうございます。
- 委員長（三富美代子）　ほかに質疑はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子）　以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外委員の質疑はありませんか。  
増田議員。
- 委員外議員（増田祐二）　1点だけお願いします。調書で言うと42ページのところ、先ほど委員からも質疑のありましたフィルム・コミッションです。御課のほうで取りまとめていることは、先ほどの答弁で理解はできましたけれども、他課との連携に関しての部分について、昨年度協議されたところはありますか。
- 委員長（三富美代子）　情報発信課長。

- 情報発信課長 主な産業観光課とは連携を取っています。
- 委員長（三富美代子） 増田議員。
- 委員外議員（増田祐二） 内容を伺ってもよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 情報発信課長。
- 情報発信課長 産業観光課は、商店であるとか、企業さんとかお店、そういったところを取りまとめているところになりますので、例えばですが、ロケ弁なんかは市内の業者さんをお願いしたいというところで取り組んでおりますので、そういったところで紹介していただいたり等々はしております。
- 委員長（三富美代子） 増田議員。
- 委員外議員（増田祐二） 観光的な側面での取組ということは特段はなかったでしょうか。

暫時休憩をお願いします。

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時50分 休憩

11時51分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
情報発信課長。
- 情報発信課長 そこについての協議というのは、私の知っているところでは存じ上げていませんので、そういったところ、今年度アプリも作成させていただいたり、観光客、市外からの交流人口を増やすというところでは、産業観光課と深く連携していかなければいけないところかなと思っておりますので、その点は今年度も協議をしていきたいと思っております。
- 委員外議員（増田祐二） 委員長、最後です。
- 委員長（三富美代子） 増田議員。
- 委員外議員（増田祐二） 移住定住に関しても同様に、昨年度で言うと御課の中で、本年度で言うと他課になるのですけれども、定住移住に対しての取組というものの協議はあったかどうかだけをお願いします。
- 委員長（三富美代子） 情報発信課長。
- 情報発信課長 すみません。定住移住については、私のほうでは把握しておりません。
- 委員長（三富美代子） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。  
以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。  
これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で情報発信課の質疑を終わります。

## 渉外課

○委員長（三富美代子） 渉外課長の説明は終わりました。

次に、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。49ページです。3番の（1）、企業訪問のところなのですが、令和2年、3年とも、これゼロ回ゼロ社となっているのですが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して中止となっていますと下のほうに書いているのですけれども、こちらは電話などで聞き取り調査などの対応はしているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 電話での相談は受けております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 電話とかのその相談というのは、何件ぐらいとかというのは分かりますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 企業相談につきましては、その下のところの相談件数の中に入れていただいております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 相談件数の中に入っているということで、分かりました。このうちのどれぐらいというのは分かりますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 具体的に何件が市内企業とかということはどうもありません。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしく申し上げます。先ほどと同じ49ページになります。先ほど同僚議員からの質疑の中では、企業訪問等を行わない中で電話での相談を受けているという話でした。これは、市側から企業、会社にお電話をして、何かあるかという企業訪問と同じような形、こちら側からアプローチをかけるもので、そういうふうな件数だったのかということによろしいのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 そのとおりです。

暫時休憩申し上げます。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時05分 休憩

13時05分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。その際に、例えばズームでちょっと打合せをしたいよとか、そんなような形でのものという相談はあったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 ズームでの相談というやり取りはなかったと聞いております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 今後コロナ禍という中では、このような状況が続くと。新たな企業との信頼関係の構築も含めましたそういったものが必要というふうに思うのですけれども、令和3年度、何かしらそういうふうな検討等はされましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 令和4年度につきましては、企業訪問を実施しております。現在は行える状況なのですけれども、今後ズーム等でという話があれば検討していきたいと考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） これからのところは分かりました。令和3年度は、そのような検討があったか、令和3年度の中身をお願いします。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 令和3年度の時点では、そのような考えはなかったと聞いております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ありがとうございます。

ごめんなさい。ちょっとページが分からないので、いいです。後でします。

○委員長（三富美代子） では、ほかに質疑は。

内藤委員。

○委員（内藤法子） 渉外課の中で、演習場対策総務費が執行率58.2%、演習場対策推進助成費が執行率44.42%、そして企業誘致費が28.33%と、ほかの部署に比べて断トツ執行率が低いのです。背景はそれぞれ聞きましたけれども、このことに関しては担当課はどのように考えていらっしゃるでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時07分 休憩

13時08分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

渉外課長。



○渉外課長 コロナウイルスの関係で、負担金等の支払い、事業をやらずに負担金等の必要性がなくなったということでございます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） コロナウイルスの影響というのは、全般に及んでいます。これだけ執行率が悪いということは、予算取りのときに予測できなかったのかという反省もあると思うのですけれども、それはどうでしょう。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 令和3年度予算を組むときに関しましては、3年度のコロナの関係がどういう状況か分からなかったものですから、各団体から令和3年度については負担金等を請求しますよというところでした。実際は、コロナの関係でやはり負担金については令和3年度は必要ありませんというところでは。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 実際であれば、できる形で活用していただくのが一番望ましかったと思うのですけれども、この決算の状況を踏まえて、今後の予算立てとか、それに影響力はどのようにお考えでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 今後は、各種団体等といろいろとやっていく中で、負担金等必要なものについては予算化していく予定でございます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 負担金の予算化だけではなくて、もっと中に踏み込んだ関わり方をしていかないと、この執行率は上がらないと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 今後、その辺も詰めていく予定でございます。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。49ページの部分で伺います。企業誘致費の部分です。主要事務事業として、企業誘致及び企業立地維持ということの各種事業となっております。企業誘致という部分では、何か成果につながるものはございましたか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 暫時休憩でよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時11分 休憩

13時11分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

渉外課長。

○渉外課長 これまでの関係で、新たに進出してくれるという話の企業もありますので、今後も地道に活動していきたいと考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

では、企業立地維持のところで、何か成果はございましたか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 暫時休憩でお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時11分 休憩

13時12分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

渉外課長。

○渉外課長 こちらの活動につきましても、各種市内企業さんのお話を聞きながら、裾野でそのまま仕事をしていただけるようにお話をしているところでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 渉外課が持っている各種企業に対する補助制度とかという部分の周知というのはどのようにされていますか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 周知のほうにつきましても、パンフレットを作るのと、お問合せに対して的確な回答を示しております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。先ほどちょっとお話ありましたが、令和3年10月に都市マスの一部改正が行われました。富沢地区はじめ、土地利用に関して、まちづくり課とともに新しい産業誘致ということで、何か取り組まれたことはありますか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 新たにゾーニングをされた部分につきましては、まちづくり課とともに今後に対する検討を行っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 具体的な内容がもしあればお伝えいただけますか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 暫時休憩でお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時13分 休憩

13時14分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

渉外課長。

○渉外課長 土地利用を検討していく中で、様々な手法について検討をしているところでございます。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑は。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 46ページです。番号で6、7、8のところ、それぞれ要請訪問とか、要望書を提出というふうになってはいますが、それぞれの内容はどうなっているのでしょうか。要請の内容、要望書の内容とか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 暫時休憩でお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時15分 休憩

13時17分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

渉外課長。

○渉外課長 それぞれの要望につきましては、市民の声を聞きながら要望を提出しているところでございます。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、令和3年度の中で、市民からの要望というか、声というのはどのようなものが多かったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 市民からのお問合せ事項につきましては、航空機の騒音の問題や低空飛行に見られるようなところについてのお問合せが多かったところでございます。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、それぞれその都度、協議会とかの名前で抗議されています、その回答、対応はどのようなものだったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 お問合せ、相談につきましては、それぞれ防衛省及び富士学校、また県のほうに連絡をしているところです。

暫時休憩お願いいたします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時18分 休憩

13時19分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、要望されて、それに対していろいろ回答あったと思うのですが、実際にそれで裾野市の上空のいろいろな状況の変化、そういうものというのは具体的にありましたか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 お問合せに対して航空機の問題等々、今後も引き続き要望していかねればいけないのかなという状況なものですから、引き続き要望していく予定であります。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、令和3年度で市民からの意見を受けながら、渉外の担当課のほうで何か対応を取られたこと、実際に裾野市の中で市民の意見に対して対応を取られたことみたいなことは何かあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 渉外課としましても、国の南関東防衛局さんと会うときについては、航空機の問題についてはお話をしているところでございます。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 最後です。最近、事故がとても多いということで、オスプレイがアメリカでは飛行停止の状態です。それらに対して、本当に市民を守るという立場で頑張っていただきたいと思います。何かちょっとおかしいですか。

では、引き続き今度渉外課という形でぜひ対応を取っていただきたいと思いますが、その辺のところ、令和3年度の取組の中から令和4年度に向かっての何か変更とか、決意みたいなものというのは何かあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 渉外課長。

○渉外課長 今後も引き続き情報収集をしながら、安全対策については要望していくところでございます。

○委員（岡本和枝） 分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (三富美代子) 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (三富美代子) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で渉外課の質疑を終わります。

## 総務部

### 税務課

○委員長（三富美代子） 税務課長の説明は終わりました。

次に、質疑に移ります。

質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。80ページになります。6番の納付方法のところですが、確認したいのですけれども、ここに記載されている5つの支払い方法の中で、クレジットカードとネットバンキングを使用した場合、手数料が発生するというところでよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 はい、そうです。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） では、コンビニとクレジットカードの支払いにおける、それ今聞いたのはお客さんのほうが、お客さんというか市民の方が払うということなのですが、このコンビニ払いとかクレジットカード払いをやってもらったときに、市のほうから委託業者に払う手数料、パーセンテージが分からないのですけれども、というのはどれぐらいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 スマホ決済とコンビニにつきましては、1件当たり幾らというふうなことで手数料を払っております。クレジットカードとネットバンキングにつきましては、月掛の使用料がありますので、そちらのほうの支払いをしております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） それは、コンビニとクレジットカードを比べるとどっちが高いとかというのは分かりますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 コンビニとスマホ決済は同じ部類になるのですけれども、件数がどんどん伸びていますので、全体的に考えると、そちらのほうが高くなっているかなというふうに思っております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） クレジットカードを使った場合、市民の方は手数料を払ってカードを使う、市はそれに対する手数料を払うということで、お互い手数料を払うということになりますよね。それについて、その手数料をもうちょっと減らすとか、考えていくということはやっていないでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 クレジットのほうに関しては、相手との契約になっております。こちらのほうから手数料、要はご本人さん、納税者が払ってもらう手数料のほうの減額と

- というのは、特別に特にできるものではないですので、現状のままとなっております。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。
- 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） お願いします。75ページ、お願いします。75ページの税務総務費になるのですけれども、執行率が17.65と低く感じるのですが、その理由につきましてお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 この予算11万9,000円なのですけれども、これは委員の研修代なんかも入っているのです。研修は、令和3年度も委員さんの意向で行かないというふうなことだったものですから、実際に1回だけ委員会を開催したのですけれども、そのときに来ていただいた費用弁償のみ、報償のみの執行となっておりますので、執行率のほうは低くなっております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 委員の意向で行かなかったことは理解しました。  
その決定につきましては、やっぱり年度の最後のほうに決定されたということによろしいのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 年度初めに委員会を開催したというふうなこと申し上げたのですが、その際に3名の委員に意向を確認しまして、そこで3年度については行かないというふうなことをご意見でいただきました。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 額的に大きくないので、あれなのですが、年度の当初で行かないことが決まっていて、減額しなかった理由というのはあるのですか。
- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 このぐらいの金額ですと、一応減額はするようなやり方はしていないようなのです。一応大体おおむね50万ぐらいというふうに聞いていますので、そのままです。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 76ページ、お願いします。コロナの状況におきまして、不納欠損が例年とどのような感じに変化しているかのところの、課での捉え方というか、どのように捉えているかお願いします。
- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 不納欠損は、5年による時効の不納欠損もありますし、執行停止をして、執行停止をしてからの3年の不納欠損、あとは即時欠損ということで、例えば海外に転出して帰ってくる見込みが、また戻ってくる見込みがないような場合とかというふうな方で、おおむね3つぐらいあるのですけれども、その累計がこの金額と

いうふうなことで認識しております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、まだコロナのところの影響が令和3年度では大きくは出ているわけではなく、今後出てくるということで令和3年度は認識しているということでよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 コロナの部分の影響というのもあるとは思いますが、明確にコロナのために収入が減って、それで納められないというふうな話というのはあまり聞かないのです。実際に潜在的にはあるかもしれないのですが、認識はないです。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、通常の企業活動の中でのそういうふうな影響によりまして、このような状況に陥っているというような認識でよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 はい、そうです。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかによろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） お願いします。今のところの不納欠損なのですが、と収入未済額。77ページに収入未済額の推移というのがあります。改善はされていると思うのですが、この令和3年度を通じてどのような工夫というか、なされたのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 3年度については、徴収対策の職員が年度の途中で変わったりしております。ただ、その中でもなるべく徴収に対する質を落とさないでやりたいということで、もともといる職員と新しい職員とで入り交じって情報の共有とか、テクニックなんかは磨いてもらったのかなというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） なかなかよい取組だったと思います。そういうやり方は、今後も継続していくのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 そのように考えております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 不納欠損額が82ページにあります。この不納欠損額に関しての令和3年度の工夫、同じく、対応。

○委員長（三富美代子） 税務課長。



○税務課長 特別に不納欠損を多くしようとか、少なくしようとかというふうなことは考えておりませんので、年度内に徴収対策としてやれるようなことを実行した中での、この82ページでの不納欠損の内訳というふうになっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） この不納欠損をなるべくなくすという方向には、さらにどんな工夫ができますか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 不納欠損というのは、時効による不納欠損以外に、先ほどもちょっと申し上げたのですが、取るという言い方がいいのかどうか分からない、納めてもらえるような資力がないような方、こういう方はいつまでも課税をしたまま、要は滞納の状態を残しておくというのはあまり好ましくないというふうに今も考えております。これからも考えておりますので、適時適切な滞納処分のほうを実施したいというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） これまでの議会の中でも発言が出てきましたけれども、全庁的な情報共有とか、何か全協的な何か協力体制とかできるのでしょうか、特に福祉とか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 前にほかの同僚の委員さんからもお話いただいていますけれども、福祉とのほうの連携というのは、場所も近いというのもあるのですけれども、案内等は現在でもさせてもらっています。

○委員（内藤法子） 分かりました。

以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 不納欠損について、私もお聞きします。監査意見でも増えているという表現があったのですが、あくまで先ほどおっしゃったようにいつまでも負担を残しておくのではなくて、滞納整理の方策の1つとして、これもきっちり進めていこうというふうなことなのではないでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 そのように考えております。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時44分 休憩

13時44分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） いろいろな滞納整理の方法ってあると思うのですけれども、不能欠損のところをしっかりと向き合うというのもとても大事なことかなと思いますので、これからも進めていただきたいと思います。

もう一点、国保のコロナ関係の徴収減免でしたか、それが令和3年度はなかったということだったと思うのですけれども、これは制度が分からなくて申請する人がいなかったみたいなことはなかったのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時45分 休憩

13時45分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

税務課長。

○税務課長 コロナの関係の徴収猶予というのは、特別に2年度までだったのです。

3年度については、通常の徴収猶予という制度はありますので、万が一コロナで納税が厳しいというふうな方については、通常の捉え方の徴収猶予で対応しようというふうに考えていたのですが、現実的にその部分についての申請はなかったです。

○委員（岡本和枝） 分かりました。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。76ページになるかと思います。冒頭、部長の説明でも徴収率0.4ポイントアップしたということのお話がありました。国保者につきましても、特に滞納繰越分については5ポイント近く徴収率が上がったのかなというふうに、昨年と比較しますと。何か取り組まれた点があったということですか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 すごく特別にあるかというのではないのですけれども、たださっきの内藤委員の話とちょっと逆になってしまうのですけれども、ある程度職員のスキルも上がってきていると思っています。ですから、全体的に市税のほうについても、国保税についても、徴収の対応をしているのは税務課の職員ですので、全体的にやっぱりアップできたのかなというふうに思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 非常にいい取組ではないかなと思います。また、併せて滞納整理機構に職員がまだ派遣していると思いますけれども、そこからの情報共有というのは何かされたものはありますか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 向こうに派遣している職員は、毎月1回こちらに来ます。それで、機構

のほうでやっている事務の流れなんかは、1回こちらに来たときにいる職員とコミュニケーション取る形で流してもらっています。こちらでまた困っていることなんかもあれば、電話でもしてしまうことはあるのですけれども、適時に情報の共有等はできているのかなと思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 滞納整理機構のほうに滞納処分をお願いすると同時に、その手法についてもアドバイスをいただくということは可能で、実際やられたということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 具体的なその手法をアドバイスしてもらったということはないのですが、ただもうやり方なんかは、やはり機構でやっているようなことを私たち税務課のほうでも徴収対策のほうも踏襲とまで言えないのですけれども、職員が4人なものですから、ただそういうふうなつもりで事務のほうはやっていただいております。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で税務課の質疑を終わります。

## 人事課

○委員長（三富美代子） 人事課長の説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。53ページです。4の（2）になります。年次休暇の使用状況が出ていますが、この3年と2年のところに9日と6時間というのがあるのですが、これは平均取得率みたいな形でよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 おっしゃるとおりでございます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。有給休暇は、基本的に年間20日という認識でよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 年間20日付与、繰越しがありまして最大40日という形になってございます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 部署によって取れる取れないの差があると思いますが、取れる部署、取れない部署に関しては把握をされていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 部署ごとの取得日数につきましては算出してございます。様々な要因がありますので、ちょっと一概に傾向はつかめていないところではありますけれども、把握はしてございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 人事課として、それに対する対策みたいなものというのは、特には考えてはいないという感じでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 先ほど申し上げさせていただいたとおり、月に1日以上取得しましょうというスローガンを掲げて職員に周知をしている状況でございます。あとは、特定事業主行動計画という計画を持っておりまして、その中で有休取得についての促進を掲げてございますので、たびあるごとにそのものについて言及しているところでございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしく申し上げます。人事課のほうで、本年度力を入れて取り組んでいる部分ということでは、人件費の抑制ということで、残業を減らすこと

について取り組んでいると思います。今回は17%ということで、減っているよということで見えるのですけれども、目標は30だったわけなのですが、その辺りはどのように評価していますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 目標は30を掲げて、部課長会議等、結構強い口調で削減をお願いしてまいりました。各所属ごとに削減目標を通知いたしまして、年度途中におきましてはその通知目標において今何%執行済みですという、あと何%しかないので、業務執行について合理的な執行をお願いしますという形で進めてまいったところでございます。結果といたしましては、30%に届かなかったのですけれども、目標という形ですので、おおむね人事課といたしましてはよかったのかなというふうに評価してございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） よかったと評価していること分かりました。

人事課のほうでは様々そのような取組の中で、もうできる限りのことを多分やられているということだと思うのですが、実際にそれを管理するのは所属長である課長が多分やっていると思うのですが、課長からの各部、課単位での改善点、こういうところが課題であるとか、そういった聞き取りであったり、そういったものはされましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 個別にお話をするケースはございましたが、全体としての傾向としてはつかんでございません。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 令和3年度については、聞き取りの傾向をつかんでいないということなのですけれども、その辺の必要性についての検討みたいなことは話が出ていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 令和4年度も既に進んでございます。半期を過ぎた時点で、再度時間外縮減について申し伝える予定でございますので、その際につきましては、実行力のあるものを検討したいと思っております。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。委員長。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 本年度のこの調書の中に、職員の職務満足度というところがちょっと見つからなかったのですが、どこに書いてあるか、ちょっとごめんなさい、

教えてもらえる。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 全体として総合計画の指標については、今回事務事業調書から除くという指示が出ておりました。職員の満足度というものにつきましては、指標に当てはまっておりますので、今回からは削除させていただきました。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 記載はないよということは理解いたしました。

結果としては幾つだったのかを教えてください。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時11分 休憩

14時12分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） 質問を変更いたします。職員の職務満足度につきまして、前年度と比べましてどのような傾向にあるかだけお答えください。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 おおむね同様の傾向がございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

52ページです。人事評価制度ということで、人事評価の成績を全職員の勤勉手当に反映したよということで、こういったことの中での職員のモチベーションへの影響、どのように捉えているかお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 職員へのモチベーションなのですが、アンケート調査を実施してございます。おおむねモチベーションが上がったという職員につきましてもいる中で、ほぼ変わらないという職員もいる、同数ぐらいおりました。引き続き、モチベーション上がるような制度を検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。取り組んでいただきたいと思います。

この人事課全体の中なのですけれども、人事課が見ていく職員の対象についてはどこまでが範囲となるかお伺いします。

暫時休憩お願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時14分 休憩

14時14分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いいたします。人事課が管理する対象としましては、市の職員のほかに県費の職員であったり、市以外のところで雇用されて市の施設で働いている方は含まれますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 市費以外での雇用の職員につきましては、管理の対象外としております。以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） その理由ってあるのですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 任命権者が主な理由でございます。県費職員につきましては、任命権者、裾野市にございませんので、監督権もないという認識でございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 学校の先生ということで考えますと、学校長が全ての采配を振るっている格好になるのですけれども、そうなると、その下で市費の職員も働いているということの中では、多分同じような考え方だと思うのですが、ちょっと考え方って違いますか。対象にならないですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 学校の中に市が任用している会計年度任用職員がございます。その職員につきましては、当然市の職員なので、市が管理する職員という形になってございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。ということは、法的に市が管理するとか、関わることは不要であるという解釈でよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 こちらから人事権を行使することはできないものと考えてございます。

以上でございます。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 53ページなのですけれども、年次有給休暇の使用状況、1人当

たり令和2年度は9日というお時間です。令和3年度に4月1日に職員に周知して、月に1日以上取得と周知したのですけれども、2時間アップにとどまったというところですが、この辺りの難しさはどのように分析していますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 それでも今まで取得率は過去に比べて徐々に徐々に上がってきているものと考えてございます。なかなか業務が忙しい中で、時間外を減らさない、それから有給休暇を取りないさいというところの難しさは一端にはあるのかなというところがございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 業務の効率化というよりも、やっぱり行革というか、もっと進めないとその辺は解消できないというふうに理解しているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 まだまだ改善する余地は、私はあると思っております。引き続き職員と会話をしながら進めていこうと思っております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 年次有給休暇ってそこだけにスポットを絞るのではなくて、全体的に見直していかないといけないということは理解できました。引き続きお願いします。

そのページの一番下、公務災害関係なのですが、非常勤公務災害で負担金が発生していますけれども、災害認定件数ゼロ件なのです。ここの兼ね合いは。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 こちらは、人件費に対して一律負担割合が決まっております、発生した場合でも発生しない場合でも負担金というのがかかってきますので、その辺の記載となっております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） そうすると、例えば公務災害は上に5件あって、273万7,000円とありますけれども、これも基本的な金額があって、プラス件数に応じたということですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 負担金につきましては、件数に影響がございませんで、こちらにつきましても給料掛ける比率という形での負担金になりますので、発生件数、認定件数によって変わるものではないというところがございます。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

内藤委員。



- 委員（内藤法子） それでは、この災害認定件数の5件にはどのようなものがあったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 5件ともお話をさせていただいてよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） はい。
- 人事課長 1件目が新型コロナウイルスワクチンの接種にかかってなのですけれども、針刺し事故でございます。2件目が……
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時20分 休憩

14時21分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
人事課長。
- 人事課長 認定件数につきましては、針刺し事故が1件、それから落下による打撲が1件、それから保育中の事故が2件、それから図書館における転倒事故が1件、計5件でございます。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） それでは、続きまして、労働災害の3件についてお願いします。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 では、暫時休憩をお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時21分 休憩

14時23分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
人事課長。
- 人事課長 骨折1件、それからやけどが1件、打撲が1件でございます。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） それぞれお伺いしましたところ、大きな事故にはつながっていないのですけれども、職務上の公務災害を避けるためにどのような指導といたしますか、令和3年度はしたのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 公務災害等が起きた場合に、その報告を所属長から求めまして、その事例を庁内に周知することによりまして、同類の案件につきましては避けるような形で対策をしてございます。
- 以上です。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員、マイクをもう少し。

○委員（内藤法子） 同じ職場でそういう公務災害が発生するというのは避けなければならぬので、もう少し緊張感を持った仕事ができるように配慮していただければと思います。

それでは……

○委員長（三富美代子） 内藤委員、別件ですね。

○委員（内藤法子） 別件です。すみません、お願いします。57ページなのですけれども、健康診断です。今病気で休職しているとかいうのはどこにあるのでしょうか。どこかありますか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時24分 休憩

14時25分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 53ページの大きな3番、分限処分者数の休職者として7人という形について記載してございます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 2年から2人増えているのですけれども、この方たちが復職に向けてはどのような状況になっているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 様々な病名の方がいらっしゃるのですが、復職に当たりましては、復職がスムーズにできますよう、徐々に慣らすようにリハビリ出勤という形で、当初からフルタイムで出勤してもらうわけではなくて、最初から数時間程度延ばしていくような形で徐々に業務に慣れていくような形での復帰を支援してございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 昨今は、例えば体の病気もあるでしょうけれども、心の病気というのがたくさん占めているように聞きますけれども、その辺りはどうでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 ほぼというか、7名につきましては全て心の……すみません、暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時26分 休憩

14時27分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 7名中5名がメンタル系の不調による職員でございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） メンタル系の病気にならないようにというのは、この健康診断とかそれだけではなくて、全体の市の勤務状況とか、職場の雰囲気とかいろいろあると思うのですけれども、このような大きな対応についても全庁的に何か検討とかされているのでしょうか、職員が健康で定年まで働き続けられるように。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 職場としての問題があるかないかというところにおきましては、ストレスチェックを実施してございます。ストレスチェックを行うことによって、今現在のそれぞれの所属の傾向が出てきますので、それを基に対策を考えているところでございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 今57ページでストレスチェックの決算報告見ました。金額的にこれが伸びているのは、より深くより広くストレスチェックをやっているというふうに理解してよろしいのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 金額が伸びている要因なのですが、令和3年度におきましては、ストレスチェックを行う業者にストレスチェック後の医師による面談もセットで委託したことによるものでございます。令和2年度につきましては、その辺の医師の面談につきましては産業医にお願いをしておったところなのですが、ちょっとトータル的に1回診てもらおうという形の中で、セットでお願いしたことによるものの増額でございまして。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それは、私はいいことだなと思うのですけれども、やってよかったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 実際やってみてなのですが、かなり時間が限られておまして、診ていただける人数が少なく、結局あぶれた者につきましては産業医に診てもらったということがございましたので、ちょっと耐費用的にどうかというところで、今年度につきましては、また2年の形に戻して対応していこうかなと思っております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 実際やってみての振り返りと改善につながるわけですから、それはそれでよいと思います。ありがとうございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。まず、51ページです。新規採用職員を採用していますけれども、どういった人材を求めているのかを教えてください。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 具体的に……暫時休憩お願いいたします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時30分 休憩

14時31分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 令和3年度の採用に当たりましては、今までと同様ですけれども、表には出してございませんけれども、人材推進育成委員会において人材推進計画がございます。求める職員というものがございまして、その記載の中に幾つか求める人材という者の記載がございますので、それを基に選定をしておったところでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、分かりました。

採用人数が5名ということになっていますが、これも採用計画等で令和3年度は5名の採用が必要であったという上での採用になりますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 そのとおりでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 52ページ、お願いします。下のほうの（8）です。コンプライアンス推進関係になりますが、これまで職員の不祥事のようなものが続いてきた状況になりますけれども、令和2年の調書と比べても内容的にあまり変わっていないように見受けられますけれども、特に令和3年、コンプライアンスに関して力を入れて皆さんに周知をしたとかという部分がもしあればお願いします。

（「暫時休憩お願いいたします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時32分 休憩

14時33分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 内容につきましては、メニューにつきましては例年と同様のものがございます。やり続けることが意義があるものと思っております。職場意見交換会につきましては、内容を工夫して気づきを与えるためにいろいろな題材を工夫しているところがございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） これは、主に人事課が指導をしているという形になりますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 そのとおりでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 人事課自体がコンプライアンスに関する研修というのは受けられているということになりますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 例えば私も研修を受けに行って、コンプライアンス関係の研修を受けてまいりました。昨年度も人事課の職員を1名派遣しようと思っていたところなのですが、コロナの関係で研修自体がなくなりましたので、派遣してございませんが、今年度また派遣する予定でございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、分かりました。

では、56ページのその研修の内容につきましてお伺いさせていただきます。コロナの関係でなかなか研修等もやりにくかったのではないかと思いますけれども、職員がスキルアップのための研修に参加をしないという方が年度内にはいらっしゃる状況にありますか。全員が何かしらの研修を受けてスキルアップを図れていますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 研修メニューですとかというのは限りがありますので、必ず職員が1回は研修に赴くということにはなってございません。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） では、外部に出ているではなく、内部でのスキルアップ研修のようなものは何か取り組まれたことはありますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 2番の専門研修の欄の下4つなのですが、実務基礎研修という形で職員が講師となりまして、実際の実務に関わる説明、指導をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

3番の派遣研修のところですが、記載されている表を見ますと、比較的公募というところのほうが職員が出られているのかなというふうに見受けられるので、すけれども、スキルアップをしたい、研修に出たいという職員は積極的に人事課のほうで研修を受けさせられるような体制ができていますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 研修につきましては、非常に重要なものと認識しておりますので、研修に行きたい者につきましては、できる限り派遣する用意はございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、分かりました。

今回、監査意見のほうで人件費について意見が述べられておりました。人件費を抑制するという部分は行革含めて人事課でも取り組まれていることかと思えますけれども、事業評価自体に人件費を組み込むということも必要ではないかという意見が出ていますけれども、何か年度内中で検討されたことはありましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 人件費の削減につきまして、今年度から通勤手当の減額、それから管理職手当の減額を職員に対して実施しております。その他のものにつきましては、現在特に検討をしている項目はございません。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ちょっとうまく質疑の内容が伝わっていなかったらすみません。事業評価の中に人件費も含めた評価というご意見なのですけれども、ここに関して特に検討はされたということはなかったということによろしいのですか。

（「暫時休憩お願いいたします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時37分 休憩

14時40分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 監査の指摘にありますような形での人件費の割り振りのし直しにつきましては実施してございません。

以上でございます。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 51ページ、最下段ですが、再任用の採用職員の欄で、保育園長

フルタイム2名になっていますけれども、令和3年度において、正規の職員の方で園長職ができるという人材がいなかったということなのではないでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 職階からして園長まで上げる職員がいなかったというところ、おっしゃるとおりでございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、この状態がいつまで、園長職に再任用の方を充てるという状況が続くのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 幼児施設の再編にも関わってくることなのではございますけれども、あと一、二年、二、三年ぐらいまでにつきましては、このような状態が続く可能性がございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 将来的に幼児施設の統廃合の中でという考えは見えてきているのですけれども、でも現状をこういう形で乗り切るということをよしとされるということですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 このような形は本来の形ではないというふうな形、暫定的な措置をいたし方なくしているという認識でございます。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 幼児施設の再編って15年計画というか、時間もかかりますし、その間社会情勢も変わっていく中で、それでは当面この現状を改善しようとする考え方というのはないのでしょうか。あくまで再編を待つという立場なのですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 再編を待っているということではございません。職員につきまして、園長に上がれる職階になる者につきましては、今の状況がいい状態だとは思っておりませんので、園長に上げて任命をして、正常な運営にしたいというふうには考えてございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それは、何年か後には可能という目安が立っているということなのではないでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 数年の間には解消する見込みであります。

以上でございます。

○委員（岡本和枝） 分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかに。

勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） お願いします。54ページの8番の（2）のところのラスパ  
イレス指数ですけれども、年々減っていることに関しての人事課としての評価をど  
ういうふうに見ていますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 ラスパイレス指数の影響に関しましては、非常に難しい面があると思  
っております。算出の仕方が学歴区分によっておりますので、申し上げますと、例  
えば高卒の職員が高い職階に行きますと級にラスパイレス指数が上がったりという  
影響が、1人上がっただけでも急に上がったりという影響がございますので、なか  
なか一概にラスパイレス指数に対する対策というのは難しい面があるというところ  
の認識でございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 基本的に国家公務員に比べての指数ですから、100を切ると  
いうことは、それなりにやっぱり給与表の関係もしっかりされているのかなという  
評価を僕はしているのですけれども、それは僕の考えだから、それはそれとして。

委員長。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） それと、もう一点、53ページの育児休業の関係ですけれど  
も、令和3年度で男性職員が1人育児休業していますけれども、この月数はどのぐ  
らい育児休業取ったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 1週間でございます。

○副委員長（勝又利裕） 了解です。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

土屋議員。

○委員外議員（土屋主久） 53ページの休職の関係を教えてください。男性何人、女  
性何人ですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 すみません。暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時45分 休憩



14時45分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 7名中4名が男性、3名が女性でございます。

○委員長（三富美代子） 土屋議員。

○委員外議員（土屋主久） それでは、年齢別、例えば20代、30代、40代とかつて年齢別の人数を教えてください。

（「暫時休憩お願いいたします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時46分 休憩

14時46分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

人事課長。

○人事課長 20代が1名、30代が1名、40代が1名、50代が4名でございます。

○委員長（三富美代子） 土屋議員。

○委員外議員（土屋主久） 休職の職員が出ると、メンタル的に出ると、職場、その周りにはかなり影響があると思うのです。自分も経験があるのですが、その他の職員のフォローって結構大変だと思うのです。その辺、どういう形で対応していますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 人間的なもの以外のフォローにつきましては、人間的なフォローでよろしいでしょうか。

○委員外議員（土屋主久） うん。

○人事課長 人間的なフォローにつきましては、欠けた分につきましては会計年度任用職員ですとか、それから長く休んでいた先に休職がございますので、人事異動等で補填するような形を取っております。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 土屋議員。

○委員外議員（土屋主久） 人間的には多分そうなるのではないかと思うのですが、結局周りの職員に対する、心、要するにメンタル的な対応というか、その辺が一番大切だと思うのです。だから、課長さんがやっぱり一番大変なのかなと思いますけれども、その辺何かどのような対応を取っているのか、もしありましたら教えてください。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 対象となる所属長に対しましては、人事課課長ですとか、当時私が個別

に、それぞれの特性がございますので、その職員に対する対応、それからその周りの職員については二次災害という言い方はおかしいですけれども、ないような形で、一概には言えないのですが、それぞれ今残っている職員に負担がかからないように、もしくは今残っている職員のせいではないんだよという形でお話をしたりというところで、できる限りの対応はしているところではあるのですが、十分かどうかというところは分からないところなのですけれども。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 土屋議員。

○委員外議員（土屋主久） 大変ですけれども、そのように頑張ってください。

もう一つ、委員長。

○委員長（三富美代子） はい。

○委員外議員（土屋主久） 52ページの……

○委員長（三富美代子） 土屋議員、そうしたら3回ぐらいのやり取りでお願いしてよろしいですか。

○委員外議員（土屋主久） はい。

○委員長（三富美代子） では、土屋議員、お願いします。

○委員外議員（土屋主久） 52ページの人事評価なのですけれども、良好でないというのは、要するにいないわけですよ。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 こちら運用の中で、懲戒処分を受けた職員につきましては良好でないという形で評価してございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 土屋議員。

○委員外議員（土屋主久） レベルを高くしていったら、人事って必ず頑張っている職員もいれば、頑張っていない職員絶対にいるのです。となると、凸凹になって当たり前。プラスがいればマイナスも出てくるので、そうでないと総人件費の関係考えたら、だっていっぱいお金上げるばかりの世界ではないですか。そうだったら、それって昇格とか、そっちへ生かしていけばいいと思うので、その辺どうお考えですか。これで終わります。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 勤勉手当につきましては、職員から原資を薄く、成績率にすると1%ずつ薄く皆さんから集めた中、範囲内で優秀な職員の原資として、それが市費から持ち出すことのないよう、その中でプラスマイナスをやっているというところがございますので、今現在におきましては市費からの持ち出しはないということでございます。ただ、今後につきましては、議員おっしゃるとおり昇任、昇格等につきましても反映していく予定でございますので、そちらについてはやはり基準を決めて、正しい運用をしていくべきだということの認識は持っております。

以上でございます。

○委員外議員（土屋主久） ありがとうございます。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で人事課の質疑を終わります。

## 行政課

○委員長（三富美代子） 行政課長の説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。59ページです。文書保存状況のところですが、古いものとかを全部出してからというのは大変だと思うのですが、例えば新しい1年から4年とか、そういうものとかあると思うのですが、保存に持っていく前にデジタル化をして残しておくというようなお考えはないでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 デジタル化の保存については、その文書の原本性の問題とかいろいろございまして、また予算の関係もございまして、現在のところ考えてはございません。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

あと66ページです。光熱費のところなのですが、今全体的に光熱費が世界的にも高騰している中で、これからというか、この3年度に関してもこのように高騰している中で、今後光熱費の節約に関して検討されていくというようなことはあるでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 光熱費の縮減につきましては、庁舎の照明を絞るとか、空調関係の調整をすることということで、現実的に実際に現在も行っている状況でございます。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしく申し上げます。59ページをお願いします。昨年度も伺いましたが、書類の管理の問題です。行財政構造改革の中で、公共施設の床面積の削減というのはテーマであるのですが、書類保管のためにその部分が使われているという中で、永久保存のものについては減ることはなく増えるというふうなことなのですが、その考え方というか、それにつきまして検討していくという話がありました。令和3年度どのような検討が行われたのか伺います。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 文書の削減につきましては、基本的には紙の削減をすることによって削減できる部分があるのではないかとということで、なるべく印刷をしないという形の取組を検討してまいりました。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） なるべく紙を使わないということは理解いたしました。先ほど同僚議員の話の中で、デジタル化の考えはというと、今度は原本性の問題があるということだったので、保存するものによってはデジタルデータで保存し

てもよいものがあるということの理解でよろしいのですよね。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 デジタル化も可能なものも一部にはあると思われま

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） そういった中、先ほどの話ですと、なかなかデジタル化はできないということの中で、その問題に対してどのような対応をしていくかにつきまして、令和3年度は結論としてどうなったのかをお聞かせください。

暫時休憩しましょう。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時11分 休憩

15時12分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

行政課長。

○行政課長 最終的に紙の印刷を減らすことで、永久保存文書の縮減も図れるというふうに考えておりますので、そのような状況を目指しております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

あと、これ記載の問題なのですけれども、もう文書の保存状況ということで、保存数、廃棄数、総保存数ということで、永久が何個であるとか10年～が何個であるというふうな記載がないのですけれども、この辺りはこういうふうと一緒に書くことの必要性というか、分けなくて書くことというのはどのような理由で分けていないのか、一緒に表記しているのか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時13分 休憩

15時13分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

行政課長。

○行政課長 表記の方法につきましては、また今後検討させていただきたいと思

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

65ページ、お願いします。土地の売払いということで、かなり多くのところに手をつけていただいております。令和3年度の様々な取組の中の経験から、次年度にこういったことを生かしていこうねというふうな、何かそういうようなつなげて

いく内容について、そういったものはあったでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 ここで大きく公売をかけたことで、販売の方法について一定のノウハウを得ましたので、今後それを生かしていきたいというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ノウハウを生かしていただきたいと思います。

次、66ページになります。庁舎管理費になるのですがけれども、保守の点検業務委託ということで、たぶん様々なところを一括してやられているという認識でいるのですがけれども、一応そのような形のものでよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 暫時休憩をお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時14分 休憩

15時15分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

行政課長。

○行政課長 庁舎の保守管理につきましては、単独でやっております、ほかの庁舎と施設等も含めての契約は現在行っておりません。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 行財政構造改革の取組の中で、さらなるスリム化というか、縮減努力が求められておりますが、ほかの複数施設をまとめた中での保守契約ですとか、そういったところの検討につきましては、令和3年度ありましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 具体的な検討はおこなっておりません。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） その必要性については、感じている、感じていないで言いますとどちらになりますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 今後は、検討の対象に含めていきたいというふうに考えております。

○委員（杉山茂規） 分かりました

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） すみません。お願いします。59ページの市民総合賠償補償保険なのですが、この補償の対象はどのような内容になるか、簡単をお願いします。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 こちらの補償の対象につきましては、まず1点が施設の瑕疵、要は欠陥

などがあったことによりましてけが等が発生した場合に賠償するものがございます。それから、市が主催または共催する行事の関係です。これに際しての事故等が発生した場合についての賠償責任について補償がされるものになっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それでは、この補償が実際に令和3年度、補償された件数というのは、適用数はどれだけありましたか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 令和3年度につきましては、対象となる案件はございませんでした。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） ちょっと休憩願います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時17分 休憩

15時17分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。  
内藤委員。

○委員（内藤法子） 今適用数はゼロというふうにおっしゃいましたけれども、市の共催や主催行事で地域のスポーツ教室、いろいろたくさんあります。そういったところの主催する人とか世話人さんに、この補償保険が適用されるということが周知徹底されているのでしょうか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時18分 休憩

15時20分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。  
行政課長。

○行政課長 地域の団体のほうに周知がされていない場合もございますので、周知の方法については今後検討してまいりたいと思っております。

○委員（内藤法子） よろしく願います。

それでは、もう一つ、すみません。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 65ページです。先ほどの質問もありましたけれども、普通財産の管理、土地売払い状況で、令和3年度、非常に頑張ったと思っております。この令和3年度でまだ売払いができなかったという案件は何件か残っていますか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時21分 休憩

15時22分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

内藤委員。

○委員（内藤法子） 令和3年度、非常に頑張っていただきました。まだ残っている物件というのがありますか。残りがあるかどうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 令和4年度につきましても売却を予定しているものが既に1件ございます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 完全に100%売払いができるとは思いませんけれども、残った理由とかいうのも分析はしているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 土地の権利関係などの整理がついていないといったものもいろいろございますので、そういったものを調整しつつ、今後も売却を進めてまいりたいと考えております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） よろしくお願いします。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。59ページの部分です。ファイリングシステム定着化事業ということで、かなり前からファイリングシステム導入をしておりますけれども、特に予算づけはなかったという認識ですが、よろしいですか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 そのとおりでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 行政課が取り組むこのファイリングシステム定着化事業、ちょっと具体的な内容を教えていただいてもよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 これは、巡回指導という形で、適正に保存がされているか、管理されているかというところをチェックするということで行っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 目視でのチェックということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 そうです。現実的に現場に行きまして、指導等を行っております。



○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 先ほど来、デジタル化というお話もありますけれども、このファイリングシステムをこの先違う形に変えていこうとあって、そんな検討というのは特に何かされたものはありますか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 特段このシステム自体は変更する予定はございません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 先ほど来、紙ベースの保存とか、デジタルの保存という話がありましたけれども、法整備的に紙ベースをデジタルで保存するというのは、可能なような形に規定とかはそういう設定になっているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 内部的な規定でそこまで規定できていない部分もございますので、今後その辺りについては検討してまいりたいと考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、分かりました。

62ページお願いします。12番の平和都市への推進ということで、コロナ禍においてこの平和都市に関する教育部分をいかにできるかということで考えていただいた結果だと思えますけれども、この事業を実施して、今後の方向性というのは何か検討されたことありますか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 こちらの案につきましては、行政課のほうで提案させていただいて、それぞれの学校で検討していただいております。ですので、学校とよく連携を取りながら今後も進めてまいりたいというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この事業を行政課がお持ちになっているのですが、先ほど来、学校のほうで検討いただくということに関しては、教育現場にこの平和教育をお願いするという検討は特にされていないですか。

○委員長（三富美代子） 総務部長。

○総務部長 今まで10名の派遣をしまして、それについて続けてきました。そこらはもちろん教育委員会と協力してきました。ただ、いろいろ今後やっていく、今年度方針出す中で、10名であれだけのお金かけるのだったら、いろんな事業を見直す中で本物に触れるみたいな形で、各学校ごとにやってはどうかという話がありまして、教育委員会と相談をしまして、年間何校かその部分の授業をやっていただくということで、今年度の予算になっております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、了解しました。現地を見るものいいのかもしれませんが、多くの方が聞くというのもいいのかなというので、ぜひ検討をお願いいたした

と思います。

委員長。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 63ページ、移りまして、情報公開審査会が1回開催されています。お話しできる範囲で内容の概要をお伝えいただけますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 こちらにつきましては、建設管理課の案件でございまして、上地に関するものでございました。

○委員（賀茂博美） 上地。

○行政課長 上地、道路の関係についての文書の公開、開示請求でございました。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 結果的にはどのような対応は最終的になったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 対象となる文書が不存在でございましたので、そのような回答をいたしました。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） すみません。1件だけ。60ページの物品や印刷、発注なのですが、市内と市外、若干市外が多いのですけれども、市内業者を使うということは、令和3年度はより市内業者を使おうということは、令和3年度はどのような議論があったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 業者決めるに当たっては指名委員会を開いておりまして、選定行者を決めております。その中で、できる限り市内業者を入れた上で入札を行った結果、このような結果になっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 仕組みは分かりましたけれども、できる限りやっぱり市内業者を。市内業者が活性化すればいいなと思うのですけれども、そのために何かできることってありますか。今のシステムではこれが精いっぱいという形でしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 基本的には競争入札が原則でございますので、競争原理の中で参加していただいた上で、できるだけ取っていただくように努力はお願いするという形になろうかと思います。

○委員（内藤法子） 分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑は。

岡本委員。

- 委員（岡本和枝） 62ページの13、申請書等の押印見直しについてお尋ねします。廃止率が90.03%というのは、これは100%を目指す中での到達点が90.03%ということの意味なのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 なかなか100%というものは難しいというふうに考えておりました、義務づけがないものについては、できる限り廃止を図っていくというふうに考えた上で取り組んだ結果がこのような形になっているという状況でございます。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） その中で、特に必要がある書類を除きとあるのですが、これはどのような書類なのでしょう。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 基本的に法令等で押印が義務づけられているものがございまして、そういうものについては省略ができないということで、このような状況になっております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それは、保留の25件というものなのでしょう。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 そういったものも含まれているという状況でございます。
- 委員（岡本和枝） 分かりました。
- 委員長（三富美代子） よろしいですか。
- 勝又委員。
- 副委員長（勝又利裕） お願いします。68ページの公用車のことでちょっと聞きまされども、令和3年度は3台削減したということです。この話が平成29年の行革推進委員会の意見からいろいろ始まっていると思っておりますけれども、29年から令和3年度まで、都合何台削減できたのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 平成29年度末の台数が132台でございました。それから、令和3年度末で121台という形になりましたので、計11台の削減をしたという状況になっております。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 副委員長（勝又利裕） ありがとうございます。そうすると、ついこの間、公用車8台売却というのが出ていましたけれども、令和4年度、先の話で、3年度決算ではちょっとはみ出てしまいますけれども、削減計画というのは何か考えていますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 令和4年度は、既に公表している8台に加えて、あと2台廃止を予定しております。計10台を予定しております、公用車の適正配置につきましては、各

部署への意見聴取などを行った上で、本年度中には計画を策定しようというふうに考えています。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） ありがとうございます。

ちょっと違う話で、決算書で公用車何台も持っているから、当然車検とかかかるのですけれども、車検については市内、市外の業者があるのでしょうかけれども、どいう形で車検をしているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 車検につきましては、基本的に市内の自動車修理工場のほうに発注をしております、一部市外業者に発注を行っております。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） ありがとうございます。そうすると、比率的には市内業者のほうが多いのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 比率としましては、ほぼ市内の自動車整備工場に依頼をしている形になっておりまして、2件ほど市外の業者に依頼をしております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） すみません。選挙事務の関係で、ポスターの掲示場所等のごことをお聞きします。昨年は4回も選挙があって大変だったと思うのですけれども、ポスターの掲示場を設置する場所という部分については、例えば道路脇であったり、非常に何か設置をしているのが危険に見えるような場所もあつたりするのですけれども、そういった検証みたいなものは何かされていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 特段その危険性について等まで含めての検討はしていない状況でございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 4回選挙あつた中で、そういったご意見等も特には伺っていないような状況ですか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 明確にそういったご意見を受けたということはございません。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時34分 休憩

15時34分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

ほかに質疑は。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いいたします。62ページの13です。申請書の押印見直しということで、手続の簡略化ということでもいいことだと思うのですが、この簡略化、この判こをなくすことで逆に面倒くさくなるみたいな事例というのはあったりするのでしょうか。

（「暫時休憩をお願いしてよろしいでしょうか」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時35分 休憩

15時36分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

行政課長。

○行政課長 押印を廃止したことによりまして、別途本人確認が必要となる場合がございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） その点は分かりました。この場合も判こが要らないということの中では、デジタルによる申請というものもあるかと思うのですが、そちらも併せて受付がオーケーになったとかという話ではないのでしょうか。どんな感じでしょうか、その辺のところは。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時36分 休憩

15時36分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

行政課長。

○行政課長 押印廃止に伴いまして、電子申請によって行うことができるようなものがございます。いわゆるぴったりサービスという形で、電子署名なんかで本人確認が取れるものについては、電子申請が行える形になっております。ただ、この件数について、こちらのほうでは現状把握してございません。

○委員（杉山茂規） はい、分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかによろしいですか。

勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） ちょっと休憩してください。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時37分 休憩

15時37分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 芦湖水利組合、通水350周年たしかやったと思うのですが、その後の何か、特に変わりはなく推移しているのか、何かちょっと反響があるのかどうか、その辺ちょっと確認させてください。

（「暫時休憩お願いいたします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

15時38分 休憩

15時38分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

行政課長。

○行政課長 350周年記念では、コロナ禍でイベント等はなかなか実施できなかったところではありますけれども、記念誌やダムカード等を作成いたしまして、それを配付等をしております。それがなかなか好評をいただいているという状況がございます。

○副委員長（勝又利裕） ありがとうございます。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で行政課の質疑を終わります。

## 検査監

○委員長（三富美代子） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いいたします。この検査員につきまして、少ない人数で多分回されているということで、人をどのようにして育成していくかということ、過去発言がありました。今回、研修がなかなかできなかったよであったり、様々学ぶ場につきまして現状している中で、令和3年度はどのような育成の仕方というか、力を注いだ部分ありましたらお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 検査監。

○検査監 令和3年度につきましては、残念ながら特段の力を入れるということには結果的になり得ませんでした。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

○委員（杉山茂規） はい。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。先ほど判定のE、F、それぞれ事例をご紹介いただきましたけれども、F評価のほうは資料の不足のみで施工自体には問題はなかったということによろしいのですか。

○委員長（三富美代子） 検査監。

○検査監 施工自体には問題はなく、それが不備ということになります。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この成績評定のちょっとつけ方の部分をもう少し教えていただきたいのですが、資料に不備があって施工に不備がないものがFで、施工自体に不備があるものがEという判定になる、その基準というのはどういうふうになっていらっしゃるのですか。

○委員長（三富美代子） 検査監。

○検査監 この工事成績につきましては、工事の施工計画から実際に施工する施工管理の件、安全管理の件、あと地元との環境対策、あと創意工夫といろいろな要素をかみ合わせた結果で評価をしているということになります。したがって、この工事の施工不良があったほうが評価が高くて、書類に不備があったから評価が低いというのは、総合的な判断の中で出てくる結果となります。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 総合判断ということは了解しました。それは、何かマニュアル化されてあったりとか、評価基準があったりというふうになっているのですか。

○委員長（三富美代子） 検査監。

○検査監 県の評価基準にのっとって検査評定をしております。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） すみません。今ので関連して、E評価のほうは施工に不備があったということだけでも、検査員が気がつくまでその施工業者は気がついていなかったと、そういう解釈でよろしいのですか。

○委員長（三富美代子） 検査監。

○検査監 はい、そのとおりです。

○副委員長（勝又利裕） はい。もう一点。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 書類の不備のほうがFだけれども、Eも含めた中で、その後の入札、そういうところに関しての、制限付一般競争入札とかいろいろあるのだけれども、そこへの参加ができないとか、そういう決まりは特にないでよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 検査監。

○検査監 今回の事例が、特にF評価をつけるの初めてでしたので、今回入札参加停止要綱というのがありますので、そこに反映するような形で59点以下の工事成績結果につきましては、指名参加停止にするような形で運用を7月1日から取り組んでおります。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 令和3年度に関しては、4年度の最初の部分までは特にそういうあれはないということですよ。ペナルティはないということでもいいですか。

○委員長（三富美代子） 検査監。

○検査監 令和3年度まではありません。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外委員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）



○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で検査監の質疑を終わります。

以上で総務部関係の議案の質疑を終わります。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって散会いたします。

15時49分 散会

9時00分 開会

- 委員長（三富美代子） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。  
本日の日程はお手元に配付のとおりであります。  
審査の方法は、昨日と同様に、当局の説明を求めてから質疑に入ります。

環境市民部

深良支所・富岡支所・須山支所

- 委員長（三富美代子） ただいまから環境市民部関係の審査に入ります。  
発言の際には、録音の関係上必ずマイクをご使用願います。  
説明は終わりました。  
次に、質疑に入ります。質疑はありませんか。  
木村委員。
- 委員（木村典由） お願いします。各支所共通なのですがけれども、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、いろいろ事業が中止となっております。地域住民の方の集まる機会なども減ってしまったと思いますが、その中でも各支所において地域の活性化に取り組んできたことなどありましたら教えてください。
- 委員長（三富美代子） それでは、深良支所長からいいですか。  
深良支所長。
- 深良支所長 深良地区では、大きなイベントはコロナの影響により中止でしたが、各役員さんとの打合せについて、またほかの開催状況、各地区の状況等は事務局で得たものは役員さんとお話しして共有して、活動の支えとなるところは話し合っております。  
以上です。
- 委員長（三富美代子） 富岡支所長。
- 富岡支所長 富岡支所では、令和2年度にコミュニティセンターの改修を行いまして、令和3年度より新たにコミュニティスペースというものを支所内に設置しております。そちらのほうで地域住民の方の活動されたものの展示とか、あと小中学生等の絵画等の展示を廊下、階段のところに設置したりして、地域の方が、行事はできないのですが、そういった形で支所に来ていただいて、地域の方の活動について知っていただく機会等を設けて活動させていただいております。  
以上です。
- 委員長（三富美代子） 須山支所長。
- 須山支所長 須山地区につきましては、会議等につきましてはパーティション等を用意をして、参加人数を若干減少させて、会議の回数自体は例年同様にコロナ禍以

前と同様のような会議をしております。

続きまして、外での作業等があるのですが、それにつきましてはコロナ禍前と同様に実施をしております。

それから、須山地区で行っておりますお祭り等につきましても、規模を縮小して神事のみというようなことになってしまいますが、例年同様の実施をしております。

以上であります。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。ありがとうございます。コロナ禍の中で各支所とも考えていただきながら活動していただいたということでありありがとうございます。

次です。各支所において、清掃業務の契約がばらばらと思うのですが、須山支所の清掃業務の入札なのでありますが、入札がなくなって随契8号だけになっています。その理由をお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 清掃業務委託でございますが、こちらにつきましては令和2年の10月1日から令和5年の9月30日までの長期継続の随意契約をしております。令和2年の10月1日の少し前に随意契約をしました。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

須山支所長。

○須山支所長 市役所等の施設一括で入札を実施をしましたが、落札できなかったということで、最低額の業者と随意契約をいたしました。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしく申し上げます。112ページをお願いします。ほかの支所のところには記載がないのですが、深良支所だけ地域振興事務というところの、2、地域振興事務の表の中に一番右に貸出し以外という記載がありまして、ちょっとその意味をお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 こちらは、予約利用者以外で1階にあるフリースペースを利用した人数を掲載してあります。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。これ3支所ちょっと共通でお伺いしたいのですが、コロナ禍ということもあって事業縮小、規模が縮小というかできないこといっぱいあったと思うのですが、一方で行財政構造改革の第1期計画最終年ということ

の中で、厳しい運営の年だったと思うのですけれども、その中で特に力を入れたところについてお伺いをしたいと思います。

○委員長（三富美代子） 各支所ということですので、深良支所長よろしいですか。深良支所長。

○深良支所長 深良支所ではコロナ2年目という形でしたので、できるだけコミュニティセンターについては利用してもらえるようにパーティションもありますし、換気のほうもするように促しておりました。ですので、特にというものではないのですが、前年度よりは多く利用していただけるように、地域の方の憩いの場となるように職員として対応に当たっておりました。

以上です。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 令和3年度につきましては、富岡支所ご存じのように、コミュニティセンターのリニューアルをしているということで、行財政構造改革の中では少しでも予算を圧縮するというふうな部分になると思うのですが、実際のところは建設工事費のほうで上がってしまっているというところがございます。そこと比較しましても、令和4年の中でもどうしてもリニューアルした後で委託業務とかで上がってきてしまっているものがあるのですが、基本的には事業費を圧縮できるような形で予算をカットできるように努力はしております。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 須山支所におきましては、コロナ禍が続いておりまして、令和3年度については大体コロナの対応が利用者の皆さんも分かってきたということで、コロナの対策をしっかりと取っていただいて、積極的というか、なるべく多く利用していただけるように促したというか、人数を制限とかをしたのですけれども、会議等中止をしないように努力をしたところであります。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 各支所、様々な努力をされているということが非常に分かりました。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 深良支所なのですけれども、まちづくりワークショップ、それを続けながら地元民の思いをしっかりと捉えていくことを行いたいというふうなことが言われていたと思うのですけれども、令和3年度につきましてはその辺の取組、コロナであったらどうというのもあるのですが、結局どのような形となったのかお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 まちづくりのワークショップにつきましては、ナンバー2のところ

あります各種行事の深良地区まちづくり懇談会、こちらでそのワークショップを兼ねて開催しております。この1回のみで開催でございました。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 1回のみということで、地元民の思いとしてどのようなことを共有できたかというところ、そんなところをもしご紹介できるものあったらお願いします。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 こちらについては、市営プールの跡地に焦点を当てて意見を出したというものです。前回からありましたまちづくりの冊子、その引き継がれたものをどのようにアップデートしていくかということで取り組んだのですが、やはりいろんな意見があった中で、まとまったということではないのですが、いろんな現代の思いを皆さんで話し合っただけで、次につながったのではないかと思います。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 様々なそういうところ引き継ぎながら次のところへつないでいくことができるということで理解いたしました。

また、その次に……

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 111ページなのですけれども、雑入の850円のところなのですが、これ多分婦人会の行政財産貸付けで、予算時だとたしか1,000円というような説明だったと思うのですが、850円、こちら詳細お願いいたします。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 こちらは、今委員からもありましたように、深良地区の婦人会がコミュニティセンター内で利用者に対して行うコーヒー提供サービスの行政財産使用料になります。この計算につきましては、規則に載っておりまして、計算したところ850円になったので、こちらの850円を行政財産の目的外使用ということで使用料をもらっております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、期間が短かったとかではなくて、もともと計算すると850円だったということでよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 はい、そのとおりであります。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

次に、富岡支所、113ページをお願いいたします。ごめんなさい。114ページ、一番最後のところ、修繕維持のところですが、コミセンの屋上の雨漏りということなのですが、リニューアル後にこういうことが起こっているのですが、ちょっとどんな形のあれだったのかということ、ちょっと中身を説明ください。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 こちらのほう、コミセンのリニューアルをしたのに何で雨漏りだというもったもなご意見でございます。ただ、リニューアルの中で屋上の改修はしておりません。ですので、屋上は昔のままというふうな形になりますので、どうしてもやはり雨漏りというのが出てきてしまうものですから、その部分のちょうどコミセンの2階にあります男子トイレのところの雨漏りを修繕させていただきました。以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） 須山支所に伺いたいと思います。令和3年度、オリンピックに対しまして、支所として協力するという事で予算のときにおっしゃっていただきましたが、どのようなところを中心にするのか、特に力を注いで行ってきたかお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 須山支所として予算的に何か予算を使ったということはございませんが、須山地区の団体、区長会等を中心にして、大野広場の周辺とか、国道469等の清掃であるとか、オリンピック当日に見学に行ってちょっと盛り上げたりとか、そのような活動で協力をさせていただきました。以上です。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、どちらかというと皆さんと一緒に行動するというの中ではコミュニティづくりという位置づけ、視点でそういったものに取り組んだというふうなイメージでよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 そのとおりでございます。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） お願いします。清掃業務委託でお伺いします。富岡だけかな、が須山、深良は本庁と一緒に入札して、恐らくコストダウンを考えたと思うのですが、富岡だけは単独というのはこれはどういう理由ですか。リニューアルと関係あるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 富岡支所につきましては、令和3年の4月からその令和2年5月で一応閉館をしまして、そこでリニューアル工事入っていますので、そのタイミングで

ほかの一緒にできなかったものですから、また4月のタイミングで入札をさせていただいて、事業者を選定させていただいております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） そうすると、どこかのタイミングで一緒に入札とか、うまく乗れるということでしょうか。どこかって先の、今後のことですが。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 今のところ一緒にというふうな部分では考えていないのですが、ただコストダウンの部分の中では今後その部分については検討させていただきます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） ~~ほかの支所は本庁と一緒に入札をしたのですが、金額を見るとどこもいずれも倍になっている、金額が高くなっているのです。コストダウンを目的にしたということですが、この金額が増えているというところはどういう理由になるのでしょうか。深良も須山も。もちろん富岡もですが、清掃委託は金額が倍額ぐらいになっていますね。~~

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

（何事か言う声あり）

○委員長（三富美代子） 再開いたしましたけれども。休憩しますか。

暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

内藤委員。

○委員（内藤法子） ただいまの質問は取り消します。

あと、深良支所にお伺いします。転入が令和3年度20人、すごく伸びているのですが、これはどういうふうに分析されているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 こちらについては、要因は支所では分析はしておりません。分からないということになります。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） ~~そうすると、分からないけれども、これからもこの調子で深良地区は転入が増えていくという予測をされているのですか。~~

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 暫時休憩願います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

内藤委員。

○委員（内藤法子） 1度目の質問を取り消して新たに質問します。

深良に転入が20と増えているのは、これは深良地区に転入した人が増えたというふう理解してもいいのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 これ転入が20件増えておりますが、深良支所ではほかの地区の転入も取り扱っておりますので、深良地区の人がここで増えたというわけではございません。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 分かりました。それは深良地区に転入してきたということではなくて、支所で受付をしたというふう理解していいのですね。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 はい、そのとおりであります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。1点。各支所に伺いたいと思います。各支所庁舎の中には施設の管理、それから会議等への事務支援等の記載があります。第5次総合振興計画の施策の中から聞きたいと思いますが、コミュニティ活動への環境整備ということで、地域課題の相談、それから地域活動しやすい環境づくりということ掲げておりますので、それぞれに取り組まれていることと思います。その中で、地域から上がった課題として何かあれば伺いたいと思います。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

深良支所長よろしいですか。

深良支所長。

○深良支所長 地域課題については、例年の、毎年のことになるかと思いますが、役員の成り手がなかなか見つからない、またコロナ禍における地区の運営の仕方、団体の運営の仕方についてのご相談を受けております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 次に、富岡支所長。

○富岡支所長 先ほど申しましたように、富岡支所はリニューアルを契機として、コミュニティスペースを造っております。その中に富岡地区の活動を紹介するパネルを設置しております。そういった中でいろんな話を聞いております。ただ、具体的にどういった相談というものがあつたかということ、先ほど深良支所長がおっしゃったように、区長の選任とか、あと昨年度の話ではないのですが、地区の子供会の存続の話とか、婦人会の要するに役員の成り手がいないとか、そういう話は聞いております。

以上となります。



○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 須山地区につきましても、地区の役員の人選には苦労されています。自治会をやめたいとか、そのようなお話は聞いておりません。須山地区の各種団体の活動ですが、婦人会さん等で介護予防というか、お昼を作って老人の方に振る舞うなんていう場合の器具の更新をしたいとか、細かいご相談は各種団体から受けておりますが、地区の各種団体の活動につきましては、須山振興会のほうで補助を出しておりますので、そちらで細かく対応をして、活動しやすいようにしております。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 各支所ありがとうございます。特に役員の成り手不足という部分については共通するという部分がありますけれども、それぞれの対応であったり、検討等何か地域の皆さんとされたことがもしあればお伝えいただけますか。暫時休憩してください。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

深良支所長。

○深良支所長 深良では、そういうメール云々よりもやはり高齢化が進んでおりますので、紙文化的なところはやはり残っております。そうした中で、ほかの地区ではどうしているというところの情報を聞いて参考にしているというのはやはり実態とすれば区長さんと役員さんには身にしみる、理解が進むと考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 富岡支所では、区長会の役員さんの会議というのを定例で設けておりません。必要に応じて必要なときになるべく会議も幾つかの会議を終わった後区長さんだけ残ってねみたいな感じでやったりしております。なるべく役員さんが集まる機会を少ない、要するに働いている区長さんも多いですので、なるべくそういう部分で一つの会議の中で幾つか合わせてしまうみたいなの感じのやり方を取ったりしております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 須山支所につきましては、区長会等であまりITの活用は、積極的な方がいらっしやらないものですから、せいぜいラインでやるぐらいで、従来同様の方法を取っております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。これは全市的な課題かと思っておりますので、また地域の皆さんといいアイデア等がありましたら、広めていただきたいと思いますので、

よろしく申し上げます。終わります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外議員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外議員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で深良支所、富岡支所及び須山支所の質疑を終わります。

## コミュニティ課

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長の説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。102ページになります。声のポストのところなのですけれども、苦情とか要望などの対応についてはどのように行っているか教えてください。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 声のポストに投函されたご意見につきましては、市長、また担当部局のほうにそれぞれ写しのほうをお渡しいたしまして、回答できる内容のものは回答するという対応しております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） こちらについては、名前とか連絡先みたいなのって大体書いてあるものですか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 全ての案件で書いてあるものはございません。単なる情報提供という形で投稿がある場合もございます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。そのような来た要望の中で対応できた、何か事例みたいのがあれば教えてください。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 事例の一つといたしまして、とあるところの樹木、あるいは雑草、これが伸びて困っているというような案件の内容につきましては、担当課のほうへ情報提供いたしまして、刈取り等々の対応をしていただいたという実績がございます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

続いて、104ページです。交付金の交付についてのところで、西地区の金額が令和2年から今年倍以上になっているのですけれども、去年はちょっと話の中では西地区の会議の特性上減ったというようなことがあったのですが、今年に関してはそういうようなことは解消されたというか、この金額戻っているといえは戻っていると思うのですけれども、それはどういうようなことでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。

○コミュニティ課課長代理 西地区におきまして、令和2年度、3年度比べますと、確かに金額は変わっているのですが、令和元年度の数字に戻った形にはなるのですが、令和2年度におきましては行事等が中止になりまして、できなかった行事分の補助金の分をまた市のほうに戻した形になりましたので、このようになりました。

3年度につきましては行事等はできなかつたのですけれども、多少団体における事務等の整備するものがありましたので、そちらに積み込む形で結果的には補助を戻さない形になりました。で、こういう形になっております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

~~では、今後もこういう形で、3年度そういう形で終わったわけですが、今後もそういう形で推移していくようなことでよろしいですか。~~

○委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。

○コミュニティ課課長代理 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

木村委員。

○委員（木村典由） 先ほどの質疑は取り消します。

別でもいいですか。

○委員長（三富美代子） 別件で。

木村委員。

○委員（木村典由） 106ページお願いします。自衛官募集事業についてです。募集等で「広報すその」の掲載はいいのですけれども、自衛官制度説明会4回、入隊者歓迎会1回、この内容はどのようなものか教えてください。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 「広報すその」の掲載につきましては、募集案内所が三島市にございますので、そちらからの依頼を受けまして原稿の草案なんかもそちらからいただきまして、その内容に沿う形で広報の掲載させていただいております。制度説明会につきましても、場所につきましては市役所のほうでやりますが、制度説明、内容説明等は三島の募集案内所の間が主になって行ったりしております。入隊者激励会につきましては、市長応接室で市長を交えて、ここの下の表にございますけれども、令和3年度9名中6名の方にご出席をいただきまして、関係者、市長出席の下激励会のほう開催しております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。11番の自衛隊協力会と連携を図り、会員募集3,959人の支援を行ったとありますが、これはどのようなことをやられたのでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。

○コミュニティ課課長代理 例年ですと、自衛隊協力隊行事としまして、自衛隊見学会とか音楽会、火力演習の見学とかが開催されるのですけれども、昨年度はこれが全て中止になった経緯がございます。ただ、集めました皆さんから自衛隊協力費と

いうのがあります。この協力費を使いまして、自衛隊さん昨年度熱海で災害があったのご記憶にあるのですが、そういったところで行ったときに役立ててもらおうということでタオルを作りまして、皆さんの気持ちということでぜひ役立ててくださいということで使わせてもらいました。そういった形で自衛隊会員の皆様からの気持ちを……

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

木村委員。

○委員（木村典由） では、内容的にタオルを送ったということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。

○コミュニティ課課長代理 おっしゃるとおりです。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしくお願ひします。104ページのまちづくり振興費のところになるのだと思うのですが、ちょっと大きな聞き方になってしまうのですが、令和3年度コミュニティの育成について、特に力を入れた内容についてお伺ひをしたいと思います。

（「暫時休憩お願ひします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

コミュニティ課課長代理。

○コミュニティ課課長代理 1つの例でいいますと、ズームとかを利用した研修会を区長連合会役員で行いました。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。区長連合会の役員ということで、そこから下の各区、様々なところがあるのですけれども、そこへの伝え、例えば資料の共有であったり、そんなところというのは行っていましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 連合会の役員会で伝達した内容につきましては、その後各地区に戻って各区長に伝えられることになっております。そういった実践も含めまして、各地区の自主的な取組に委ねているところでございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 区の運営費ということで、同じページですけれども、減額ということで、昨年度令和2年度末に協議が行って、令和3年度動いている分けなのですが、実際にその額でやってみてどうだったという、そんな意見等は区長さんのほ

うから寄せられたりはしていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。

○コミュニティ課課長代理 確かにご意見といいますか、昨年度連合会によりまして、区長アンケートを取ったのですけれども、その中では確かに足りないという意見もございますれば、要らないとか、ちょうどよいというような意見がありました。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 様々あったということで理解いたしました。その中の分析といたしまして、今後どういうふうにつなげていくか、今後につなげていくか、検討等は行われていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 こちらの区応援交付金につきましては、現在世帯数掛ける単価という算出方式になっておりますが、これが果たして現状にマッチしているのかどうか、そういうところも検討も含めまして、算出の方式を抜本的に見直しを図る時期に来ているのではないかと考えておりまして、今後検討してまいりたいと思います。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） この補助金については区に入って、お住まいの方に対して交付されているということの中から、以前にもお話ししたのですが、区に入っていたくための取組自身区長さんにやっていただくということが業務としてあったかと思えますけれども、令和3年度につきまして各区長さんのほう、どんなような取組をしてきたよであったり、そういった報告等はありませんでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 区に属していただくというものについては、様々ご苦労がおありでございます。また、地域柄もございます。そういった中で我々が直接的にちょっと支援をするということはなかなか難しい部分がありますが、各区長さんのご相談いただいた際には親身にそれに対応し、こちらとしてできる支援をさせていただいたところでございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、各区長さんから相談があつて、支援をしていただいたということだったと思うのですけれども、その結果総合計画で市民自治によるコミュニティの推進活動ということで、自治会の加入率がたしかK P Iはなつて

いたと思うのですが、令和3年度の変異というか、どんな感じでちょっと変化があったかというところ、もし捉えていらっしゃったら教えてください。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 KPIとして自治会加入率85%を目標にするという形で設定をさせていただいております、令和3年度につきましてはほぼ現状維持という形で捉えております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 すみません。自治会加入率を80%を目標に設定しております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということで、目標以上にはなっているのですが、今後も高めていくというふうな考え方をやはり令和3年度そういうふうにしていこうねというような確認というか、考え方で今年度至っているということでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 はい。少なくとも現状維持、なるべくであれば向上、この方向で取り組んでまいりたいと思っております。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） お願いします。102ページです。市民の相談に関してお伺いします。無料法律相談があります。よく広報で法律相談、弁護士相談はもういっぱいになりましたとお断りがあったのですけれども、現状は令和3年度はどのような状況だったのでしょうか。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 弁護士相談につきましては、毎回予約が早期に埋まってしまう現状でございます、キャンセル数までは把握しておりませんが、お断りしている件数は多数ございます。

以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

- 委員（内藤法子） お断りした数は把握していないのでしょうか。市民が何人ぐらい申し込んで、そのうち6人はオーケーだったのですけれども、相談できなかった人の数。
- 委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。
- コミュニティ課課長代理 電話でお断りした件数というのは把握といいますか、キャンセル待ちというのを取っております、大体3名ぐらいまでは埋まります。ただ、4名、5名になると、確率的に……暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。
- コミュニティ課課長代理。
- コミュニティ課課長代理 おおよそ五、六名の人数と把握しております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） そうしますと、36人で1回につき定員が6名ということで、五、六人、その場合の数が、同数が相談できなかったと、この法律相談、この実績を踏まえて、この令和3年度、弁護士さんによる法律相談をどうしようという議論はありましたでしょうか。
- 委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。
- コミュニティ課課長代理 弁護士相談におきましては、裾野市もそうですし……暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。
- コミュニティ課課長代理。
- コミュニティ課課長代理 市以外にも相談を受けている社会福祉協議会とか、弁護士協会とかに相談を促している次第でございます。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 確認しますけれども、随分前は社会福祉協議会と市の弁護士相談は月が同じで、チャンスがなくすのでずらすようお願いしたのですけれども、今はそのチャンスがずれている、市が奇数なら社協は偶数とか、そのような工夫は引き続きされているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。
- コミュニティ課課長代理 おっしゃるとおり、市が奇数月を行いまして、社会福祉協議会が偶数月を行っております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 法テラスとか弁護士会館は別として、少なくとも市内の受皿で市のほうで受けられなかった方が社協で受けられたよとか、そういう連携とかいうのはフォローはできているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。



○コミュニティ課課長代理 暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 ご指摘の点について、十分に連携が取れているとは現状言いたい状況かと思っておりますので、今後連携を図ってまいりたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 世の中が複雑になって、やっぱり専門家の弁護士さんの相談したいというのがこの数にずっと表れていると思うのです。この分は決算を締めて、そしてその次の予算に生かすためには何らかの協議が必要かと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 ご指摘の部分はごもっともかと思っております。弁護士相談、1回やると単価で幾らという形で経費もかかってまいります。行革との兼ね合いでどの程度予算確保できるか、その部分もございましてけれども、可能な限りで関係機関と連携、あるいは予算的な部分、確保できるように検討してまいりたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） ぜひ検討していただきたいと思っております。

それから、弁護士相談の……

○委員長（三富美代子） 内藤委員、マイクをもう少し近づけてください。

○委員（内藤法子） ぜひ検討してください。

あと、弁護士相談は、奇数日の20日ということで昼間に限られています。これを例えば市民が相談しやすい夜間とか、土日にするとか、そういう工夫も考えられると思うのですが、今いっぱいいっぱいなのではございますけれども、そういったことも検討の余地はありますか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 相談を受けていただく弁護士さんとの協議にもなるかと思っておりますので、お話をしてみたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） ぜひやっぱり弁護士相談というのはやりたいという市民ありますので、あと加えて電話相談とか、ズームとかいろんな手法もありますので、市民……

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

内藤委員。

○委員（内藤法子） 決算の審査でこれが足りていないというのははっきりと明確に分かったと私は思っています。なので、ぜひ工夫をお願いします。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。110ページの男女共同参画のところについて伺わせていただきます。推進委員会は3回開催されて、はじめのいっぽの次年度に向けた、次の計画に向けた協議はされたということで間違いはないですね。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 そのとおりでございます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 確認なのですが、この調書のところのこの委員報酬のところに記載がないのですけれども、審議会の皆さんに対する報酬、決算書には報酬費、報償費記載がありますが、ここ記載がないのは何か理由がありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 調査をいたしまして、後ほど回答でお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件お願いいたします。はじめのいっぽの3の部分が完結した年になるかと思えます。担当課が今年度から替わっていますので、引き継ぎをされていると思うのですけれども、このはじめのいっぽの中で様々な数値目標、各課に対する、その辺りの確認というのは引き継ぎされていらっしゃるでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 数値的などところの引き継ぎを受けております。今回4の策定に当たり、3の実績として今各課に確認をしているところでございまして、それを生かした上で4のほうの策定に生かしてまいりたいと思えます。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 何点かだけ伺いたいと思えます。コミュニティ課が関するところといたしましては、審議会への女性登用、この率についてはどのような結果になったのか、もし分かればお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 これにつきましても、後ほどの回答でお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 今年度から引き継がれていますので、内容等を精査して、これからまたそちらの課で取り組んで行かれるかと思えます。令和3年度を踏まえた結果を基にぜひ次のステップに進んでいただきたいと思えます。

~~すみません、もう一点。この男女共同参画のホームページの記載がありますが、~~  
暫時休憩してください。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 先ほどの質疑は取り消します。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 102ページ、2の声のポスト、市へのお問合せのところで、市へのお問合せのEメール件数があります。その中で意見、要望、提案という分けがありますけれども、この提案が一昨年も昨年度もゼロになっていますが、提案というのはどのようなものを提案として数字として挙げられるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 こちらで提案というふうに抱えておりますのは、市政に対して前向きにこうしたほうがいいのか、こうすべきではないかという内容のものを提案として分類させていただいています。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 市政に対してこうしたほうがいいのかというのは、きっと皆さんの意見とか要望の中でも汲み取れることができるのではないかと思います。それらを聞いて、市のほうでそれを市民の声として捉えてそれを提案として市政に生かしていくというような形がこれが必要なのかなというふうに、今のこのあれだと意見とか要望こそが何か苦情を言うてくるみたいな区分にしてしまう可能性みたいなものが感じられるのですけれども、そうではなくて市民の意見という意見、要望捉えて、それを市政に生かすというふうな考え方でこの表示をちょっと変えてもらうといいのかなというふうに思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 ご指摘のとおり、1通のメールの中でもこれこれ、こういうことが困っている、こうしてほしいという要望ですとか、こうしてほしい、こうすべきではないかというような形で、1通のメールの中に意見や提案が含まれる場合もございます。そういう中でどれを提案とすべきかというのはまたちょっと今後検討させていただきたいと思いますが、なるべく提案の方向に分類できるような形で検討してまいりたいと思います。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それはぜひお願いします。

あと1点、104ページ、区の運営費交付金の件ですが、要綱を変えて単価を減にされましたけれども、減にした理由というのは何だったのでしょうか。単価の減の理由。

- 委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。
- コミュニティ課課長代理 3年間によります行革の削減計画によりまして、対応いたしました。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） ということは、ただそこの中の事業費を減らすという目的のために単価を減額にしたという、それだけの理由ですか。
- 委員長（三富美代子） コミュニティ課課長代理。
- コミュニティ課課長代理 おっしゃるとおりです。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 先ほど今後方式等の見直し、それと区に加入しない人も確実にいますし、いろいろな地域の状況の中でそういうことが発生して、アパートの方なんか入っていないのですけれども、その辺ひっくるめてやっぱりそこに住んでいる人を援助するみたいな形で、それを求めて区がいろいろな活動をやっているみたいな捉え方をぜひしていただきたいと思います。やっぱり市長が変わった中で、市民目線第一って言われる中では、やっぱりこういうところの僅かな額なのですが、実際に光熱費が大変みたいな意見も本当に届いていると思うのです。なので、ぜひこのところでは変わるみたいな部分でお願いしたいと思います。
- 委員長（三富美代子） よろしいですか。
- 委員（岡本和枝） 要望で終わります。
- 委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外議員の質疑はありませんか。  
増田議員、1問3回までとさせていただきますと思います。
- 委員外議員（増田祐二） 短いやつでお願いします。先ほど委員からも質疑のありました102ページの声のポストの受付件数の点です。苦情という表記に関しては、これは市民の方がサインか何か苦情というふうに丸をつけるものですか。
- 委員長（三富美代子） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 市民の方が丸をつけるような項目にはなっておりません。内容によって分類をしております。
- 委員長（三富美代子） 増田議員。
- 委員外議員（増田祐二） 過去の総務委員会の質疑の中で、この苦情という表記を当局のほうで判断するのであれば意見にしたほうがいいのではないかというふうなもので、その件に関して検討していきたいというふうな答弁がありました。これに関して協議、検討はされていますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） コミュニティ課長。
- コミュニティ課長 申し訳ございません。検討はしておりません。
- 委員長（三富美代子） 増田議員。
- 委員外議員（増田祐二） 最後です。では、こちらに関しては今後検討することは

ありますか。

○委員長（三富美代子） コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 検討させていただきます。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外議員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号についてのうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上でコミュニティ課の質疑を終わります。

#### コミュニティ課（答弁漏れ）

○委員長（三富美代子） 初めに、コミュニティ課長より答弁漏れについて発言の申出がありましたので、これを許します。

コミュニティ課長。

○コミュニティ課長 それでは、先ほど賀茂委員のご指摘で答弁漏れがあった点につきましてご説明させていただきます。

主要事務事業調書110ページの男女共同参画推進事業費の委員報酬の記載漏れのご指摘につきましてですが、当該款項目からの男女共同参画推進委員への報酬につきましては、7節の報償費から支出をしておりますので、110ページの主要事務事業調書、こちらは1節からの支払いということですので、記載はしてございません。

1節の報酬につきましては、条例に規定される委員に対して支払われるものでございまして、男女共同参画推進委員はこれに該当いたしません。

続きまして、もう一点でございます。男女共同参画推進計画はじめのいっぽ3の振り返りで、審議会への委員の登用数、女性の委員登用数についてでございますが、令和3年度末で25.4%でございます。

以上でございます。

○委員長（三富美代子） 課長からの答弁漏れについては以上ですけれども、これに関していかがですか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 推進委員会への報酬というのは、審議会等の設置要綱による支出ということよろしいですか。

- 委員長（三富美代子） コミュニティ課長。
  - コミュニティ課長 そのとおりでございます。
  - 委員長（三富美代子） よろしいですか。
- 以上で答弁漏れについて終わります。

## 市民課

○委員長（三富美代子） 市民課長の説明は終わりました。

次に、質疑に入ります。質疑はありますか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。100ページです。7番の繁忙期の窓口及び水曜日夜間窓口延長についてです。どちらも令和2年度に比べ、令和3年度のほうが取扱い件数が若干減っていますが、当初の見込みどおりだったということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 大体見込み通りの数字です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） こちらの窓口延長は、市民の方への周知はどのように行っていたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 窓口に来る方向けのPRパンフレットと転入出というのが一番大きい繁忙期だということで、各企業に産業部のほうからその日時において延長を行うという情報を流してもらいました。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） では、そういう来ていただいた市民の方とかからの反応とかはありましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 転入出に関しての件数は全部で今年度11件になりますが、子育て、子供、ほかのそれに連なる手続のほうが昨年比べて10倍とは言わないのですが、3件から19件とか、3件から20件と増えて、引き続いてその転入転出に関しての手続を引き続いてやっていけるということで、おおむね良好な手続環境をそろえられたと考えております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 反応よかったということで分かりました。

続いて、101ページ、マイナンバーカードの申請についてです。令和3年度カードの申請率が54.5%ということで、平成27年10月申請開始以降ようやく市民の半数ぐらいに達したということですが、今後どれぐらい増えていくって見込みみたいなものというのは考えていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 今年度として申請ベースで60%、その本人に渡す交付ベースで55%を目指しております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 市として、令和3年度マイナンバーカードの普及に対してPRしてきたことというのはどのようなことでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 PR自体は、広報的な部分というのはそこまで手をかけられなかった部分はあります。ただ、マイナポイントの第2弾開始という国の施策そのもの自体がありましたので、周りの周知のほうはできていたかなど。それと、さきにも述べましたが、出張申請支援ということでワクチン会場の場であったり、保育園、企業、成人式の間ということ、折々に触れて人の集まる場所で申請の手助けをしながらということでPRも兼ねておりました。

以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

同じページの12番、主な事業委託のところ。今年度計上されている項目がいろいろあるのですけれども、令和2年度なくなって令和3年度出てきているという項目、これ恐らく委託であったり、委託の中の設置するときの端末代とか、そういうものだと思うのですけれども、恐らく1年で終わる、その場だけというか、1年で終わると思うのですけれども、これがこの中で今後も継続されていく保守代みたいなものについて項目教えていただけますか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 令和3年度に新しくということの中で、これ……

○委員長（三富美代子） 市民課長、マイクもう少し。

○市民課長 令和3年度からということで新しくなったもので継続されるものが下段、一番下の2個マイナンバーカードの交付管理予約システム機器の保守、リースというものがこれから継続されていきます。あと、それ以外にCS統合端末の保守費というのは全部で4台ありますので、これ自体の保守費は続いていきます。

以上です。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） すみません、1点だけ。99ページ、証明書の交付になります。令和3年度は全体の数とすると減っているよということで、5,000件くらい減っている状況なのですが、一方でコンビニ交付は非常に増えているということで、状況なのですけれども、またマイナンバーカードがどんどん、どんどん普及していくことに伴いまして、今後様々対応が必要になる部分というのが検討があったのではないかなんて思うのですけれども、令和3年度その辺りどのような協議が行われたとかありましたら、お願いします。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 委員ご指摘のとおり、窓口での証明自体が減ってきて、コンビニ交付のほうでマイナンバーカードの普及に合わせて増えてきております。これに併せてさ



らなる普及と申請、利用を目指して、今議会で手数料の減額等をしながら、なるべく持っているマイナンバーカード自体の利便性を享受してもらいながら、ほかの人たちにもこれ便利だよというところを環境を整えていければということを進めております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 今回のものでも中身は理解しております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） そうした中で普及のところなのですけれども、様々ずっと取組をやられている中で、やはりここは普及の課題になっているのではないかというふうなところにつきまして、再度何か本質的なところの協議等がもしありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 現在までは今もマイナポイントの2万円ということで申請は伸びております。やっぱりどうしても高齢者の方もだんだん口コミでいいよねというところで広がってはいるのですが、今までの方はやっぱり電子に強い、パソコンに強い、ある程度という環境の方が圧倒的でした。これからの問題点は、そこに行ってあげてというような、人たちの高齢の方たち、足のなかなか難しい方たちに出張していくという、案内していくということが問題点かなと思っております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 出張でマイナンバーカードの交付の対応もやられたということは先ほど説明ありましたけれども、またそれを踏まえてそのようなものをほかのところでもやっていこうというふうな協議があったということによろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 そのとおりです。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） それはどのぐらいの箇所でどのぐらいの頻度であったり、そういったものにつきましても細かく協議等はされていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 全体としての部分はないのですが、今回8月に3支所をひたすら回ってマイナポイントとカードの申請ということで、もう地域に出向いて行っているということを継続していければと考えております。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 最初に、99ページの職員数のところで、会計年度6人がありますけれども、このマイナンバーカードの申請、発行、交付、それらに関する人数というか、時間というか、その辺はどのようになっているのでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 市民課長。
- 市民課長 この6名中4名がマイナンバーカードの交付ということで動いていただいております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） あと、111ページ、主な業務委託のところ、市民課の窓口業務が2年度と3年度比べて1,080万9,600円の増になっていますけれども、この理由は。
- 委員長（三富美代子） 市民課長。
- 市民課長 令和3年度から3年間の委託ということで、令和2年度までの3年間のときと1年の金額が違く、高くなっていると、今の委託に関してはということです。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） あと、その下のコンビニ交付サービスがありますけれども、この62万2,674円というのは、今回3年度のコンビニ交付が5,322の数字掛ける手数料の金額ということでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 市民課長。
- 市民課長 そのとおりです。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、2年度から3年度へマイナンバーのコンビニ交付をする人が増えたものでこういう手数料が当然増えた。では、今年度はちなみに予算的にはこの伸びの中ではどのくらいの……
- 委員長（三富美代子） 岡本委員、すみません。決算に関してお願いしたいと思います。
- 委員（岡本和枝） 分かりました。
- 委員長（三富美代子） 先ほどの確認事項はよろしいですか。
- 委員（岡本和枝） 結構です。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
ほかに質疑はありませんか。  
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いいたします。マイナンバーの件です。当初予算で交付用の端末を増やされたかと思えます。その効果についてはいかがでしたか。
- 委員長（三富美代子） 市民課長。
- 市民課長 3年度で1台増設ということで、やっぱり数が数ですので、今までかなり待っていただいた部分自体を丁寧にさばけるようになりました。それ自体は市民のためになったというふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 市民の方の待ち時間は、かなり短縮されたという認識でよろし

いのですか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 ええ、そう考えております。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） お願いします。100ページの大きな9番のところのお祝い状及びお礼状の関係ですけれども、お礼状、本年の1月までで終わりにしたということで、何か理由はあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 この時期に市長の交代がありまして、その上でこの転入転出についてのお礼状につきまして意向を伺いまして、もっと別の形で市民に市のことをPR、あるいはねぎらいということができる方法があるということで、ここでの部分は別の方法を模索しながらここはやめていこうという話になりました。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 分かりました。では、別の方法はまた日を改めてお聞きします。

もう一点、101ページの窓口委託の関係ですけれども、2年度から3年度にかけて、先ほども委員の質疑がありましたけれども、1,000万ぐらい増えています。それで、当初予算を審議して可決はしているのですけれども、令和3年度の効果というか、2年度に比べて1,000万増えた効果というのは何かありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 1,000万円を金額として増えたということに対してのサービスのより充実という部分を今問われているかと思うのですが、上がった部分は人件費の高騰によるものというふうにお聞きしておりますので、2年も3年もさほど変わった状況ではないと私は考えております。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） これ3、4、5だと思imasるので、今年4年度ですから、いろいろ評価をする時期になっていると思imasるので、またおいおい確認をしていきます。

以上です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外議員の質疑はありませんか。

1問を3回までとさせていただきます。

二ノ宮議員。

○分科会外議員（二ノ宮善明） よろしくお願imasします。勝又委員がお礼状のことを

聞きました。私は、お祝い状のことを聞きたいのですけれども、やはり廃止とした理由は先ほどの答弁と同じですか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 お祝い状は今も残っております。

○委員長（三富美代子） 二ノ宮議員。

○分科会外議員（二ノ宮善明） 出生時のお祝い状、暫時休憩願います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

以上で分科会外議員の質疑を終わります。

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 職員の皆さんが職務に忠実に業務に当たられていることはよく分かっております。その中でこのマイナンバーカードに関して、国は22年度中に全国民にマイナンバーカードを取得させようということで、この令和3年度にもマイナポイントだとか多くの補助金が来ています。

問題点として、マイナンバーカード、全国民100%にすることで、行政手続が98%でデジタル化を進めるといっていますが先ほどあったようなデジタルデバイドと言われるような問題があるのと、あといろいろな情報をひもづけすることで管理をされる、それと情報の流出の問題というようなこと、実際にそのマイナポイントをやることで申請をなささいというあめとその反対でむちみたいな形でこの事業を進めようとしていることというのはとても大きな問題かなと思いますので、令和3年度のこのマイナンバーカードに関する市民課の決算に反対の意見とします。

○委員長（三富美代子） 本来ですと、反対意見がありますということでお願いしたかったのですが、ごめんなさい。やり直していいですか。先ほどのを訂正していただいて。

再開いたします。

岡本委員、意見を求めます。

○委員（岡本和枝） 先ほどの私の述べたものはちょっと訂正をしまして、反対意見があります。

○委員長（三富美代子） ほかに意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

ます。

以上で市民課の質疑を終わります。

## 危機管理課

○委員長（三富美代子） 危機管理課長の説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。137ページです。委託業務で裾野駅と岩波駅の駐輪場の委託の件なのですが、こちらの配置人数を教えてください、各駅ごと。

○危機管理課長 すみません。ちょっとシルバー人材センターに委託しているのですが、配置人数を今ちょっと持っていないものですから。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長、休憩しますか。

○危機管理課長 はい。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理課長。

○危機管理課長 配置人数の細かいちょっとデータは今手持ちにないものですから、後ほど回答のほうさせていただきます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） では、配置の時間帯というのも分からないでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 こちらも合わせて後ほど回答のほうさせていただきます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） では、その同じページの9番の借地料なのですが、裾野駅、岩波駅の駐輪場が面積466平方メートル、岩波駅第二駐車場面積212.23平方メートルとなっていますけれども、裾野駅の西と東駐輪場と、岩波駅の第一駐輪場を足した面積が上に載っている466平方メートルということによろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 上の裾野駅、岩波駅駐輪場は、JRに対しての借地となります。ですから、裾野駅東口の部分と岩波駅の3つあるうちのいわゆる線路沿いの部分の、それが合わせた借地面積となります。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） それでは、岩波駅の第二駐輪場が面積に対して金額がちょっと高いように思うのですが、これはなぜでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 借地料に関しましては、財政課のほうで当然評価に基づいて出していますので、実際の場所から算出した部分でこういう差がついているところだと思います。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。市が管理する駐輪場の中で、ホームページをち

よっと見てみたのですけれども、岩波駅第三駐輪場というのがホームページのほうに載っていたのですけれども、こちらは今あるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 岩波駅第三駐輪場は、バスターミナルを造ったところの一角で、代数的にはちょっと少ないのですけれども、現在はあります。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。今のところなののですけれども、駐輪場の委託費が305万2,500円と借地料117万2,932円、合計で422万5,432円かかっておりますが、この金額に対して評価はどのように考えているのでしょうか。

（「委員長、ちょっと暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理課長。

○危機管理課長 借地料につきましては平米単価ありますから、そこの部分が基本となって出しているということになります。駐輪場の管理委託につきましては、箇所数が多いのと、実際の業務につきましては朝夕の防犯のパトロールとか、自転車のきれいに整理する事業、あとは……

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理課長。

○危機管理課長 駐輪場の管理につきましてはいろいろな面があります。こういう意味では現在委託しているシルバーですけれども、活動は十分していただいているというところで評価はしております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

それでは、141ページになります。風水害対策のところ、近年大雨とかによって川が氾濫することが非常に多い中で、令和3年度に対しても消防団が出動する回数等何回かありました。市として風水害がこのように多い中、消防団の配置計画や活動計画などを検討されましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 有事の際にということで、団本部とは定期的ではないですけれども、そういう形で情報を共有しているということをやっております。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

では、144ページになります。LED防犯灯設置事業なののですけれども、令和3年

度168か所に設置したということでしたが、今大体市内の中でこれで何%ぐらいLED化になったということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 1のこの防犯灯の箇所数というのは、補助金を適用した箇所数になります。ですから、全体の数ではありません。

それと、現在のLEDの状況ですけれども、3月31日時点では3,955灯ある中2,665灯がLED化になっています。パーセンテージとしては67%ぐらいということで、毎年400灯ぐらいずつがLED化になっているという状況にあります。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

続いて、146ページになります。これちょっと質問というか、消防団施設等維持管理のところの表なのですけれども、令和3年度と令和2年度の合計の数が違うのですが、その上の内容の数は一緒なのです。198万5,327で令和3年度は合っているのですけれども、令和2年度が違う、上が違うと思うのですけれども、これは間違いでいいのですよね。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 大変申し訳ありません。これは、誤りということで訂正のほうさせていただきます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

あと、148ページです。これちょっと確認になるのですけれども、負担金のところの消火栓設置工事水道負担金、新設7基ってあるのですけれども、これは老朽化したのを新しく造り替えたわけではなくて、新しい道みたいなところに7基新設したということよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 そのとおりでございます。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしくお願ひします。今年富士山火山防災マップを作られて、先ほど説明がありましたけれども、ページ数的には140ページになります。その委託料の中に入っているのですが、作りまして、それによる防災意識の向上については、どのように活用されてそうになっているかというところを評価しているか、お願いいたします。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 マップ作成後、今年度に入り自主防災会をはじめ、各種勉強会のほうを実施しております。当然ながら報道等も出ていますので、市民の方からの問合せもあるという状況で、今後は次には避難ということになると思いますけれども、



それは現在実施中というか、策定をする予定になっております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 本年度もう実施しているよということでそれは理解しているのですけれども、意外とこういうふうな機材を作った後、自主防災会でしっかり活用されて、例えば浸透を図るであったり、理解を深めるみたいなどころまで結びついているかという、意外と過去そうではなかったのです。令和3年度その辺に対してどのように進めて、次年度は進めていくかについての協議等はあったでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 以前にもちょっとお話ししたのですけれども、各区の地区防災計画というのを策定をお願いしてございます。その中でまず一番大事なのは、自分の地区がどのような災害の被害とか、そういう対象になっているかというところを記載するところあります。そういう意味ではこのマップを利用しない限りそこはできないと思いますので、そういう意味で活用のほうはされているものかなと感じております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、あくまでも推測で活用されているというふうな状況で、こういうふうにやっていただくというふうな考え方の協議等はなされていないということでよろしいのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 地区防災計画策定につきましては、各区職員が担当になりまして、疑問な点があれば指導しながら進めていくという状況によっておりますので、内容についてはある程度職員も把握しているという状況になっています。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） すみません。話がちょっと横にずれていっているようなのですが、防災マップを使った形でそれしっかり区の中で活用してもらうための方策については、そう使ってもらっているだろうって今推測の答弁しかもらっていないのですけれども、実際に活用してもらうための方策についての協議はあったのか、そこをお願いします。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 各地区の訓練の内容については相談を受けることがありますので、そういう場面では具体的な活用の仕方等はお伝えしているということもあります。あと、防災指導員等もおりますので、その中でも訓練の活用、こちらについては指導していただいているのかなというところがあります。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） コロナでなかなか訓練も難しいよって、そういう相談の中でそういうふうに使いかたをお話ししているということで理解いたしました。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 総合計画のほうでちょっとお伺いしたいのですが、3の2の2ということで、新型コロナウイルス等の感染症に対応した市の災害対策本部設営とか、避難所開設のための基本方針、それに沿った訓練を行うよということで期待がされているのですけれども、令和3年度につきましてはそのような訓練等の実施等はあったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理調整監。

○危機管理調整監 災害対策本部の訓練につきましては8月に予定をしておりましたが、緊急事態宣言発令に伴って実施できませんでした。コミュニティに関しましては、下和田のモデル地区訓練の場を捉えて、県の防災アプリ、あるいは感染防止に対応した訓練を実施をして、他のコミュニティの自主防会長に参加いただいて、その実施運営についての普及ということで実施をしました。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） よく分かりました。市の対策本部の運営訓練のほうは実施できなかったよということなののですけれども、危機管理内でのシミュレーションクラスのものというのは実際やられていたりはするのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理調整監。

○危機管理調整監 5月の時点で、庁内において各課の練成訓練という場を設定して実施をしました。その枠の中におきまして、危機管理課内での課としてのコロナの対策を踏まえたシミュレーションを実施しております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

では、次のところへ行きたいと思います。146ページ、非常消防費のところになります。こちらの消防団の行事ということで様々記載がされております。消防団の中に団本部ってあると思うのですけれども、団本部の活動等については令和3年度どのような活動が行われていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 基本的な本部なものですから、定期的な会議、あと各種研修に出席する等の活動をしております。

○委員長（三富美代子） 今の件の続きですか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） 内容については理解いたしました。

団本部のメンバーの方が外に行ったりして、共感というか、そういうふうなことをされるとということもあると思うのですけれども、そちらについても行われているということでよろしいでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 駿東支部というまとまりというか、あれがありますので、その中でそういう活動も実施しているということになっております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 駿東支部での活動につきましては、この非常備消防費というか、そこの位置づけの中での活動という認識になるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 はい、そういう形になります。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 団本部の活動に際しての予算的な措置とか、そういった面での課題等についての話がありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 特には話は聞いておりません。運営交付金の中等でそれを活用して活動していただいているという状況で、その点については話は特にはありませんが。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。また、ちょっとその辺は後で伺いたいと思います。

とりあえず一旦終わりとします。

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。

暫時休憩いたします。

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。

初めに、危機管理課長より答弁漏れについて発言の申出がありましたので、これを許します。

危機管理課長。

- 危機管理課長 先ほどの木村委員からの質問ですけれども、駐輪場の関係です。管理委託時間につきましては、裾野駅東西の駐輪場につきましては6時半から8時半の2時間、各2名配置で計4名ということになります。岩波駅につきましては第一、第二駐輪場、7時から8時の1時間で各1名配置、計2名という委託内容になっております。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長の説明は終わりました。  
委員の皆さん、よろしいでしょうか。いいですか。  
木村委員。
- 委員（木村典由） ありがとうございます。これは平日月から金ということによろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 平日の月から金曜日の週5日という形です。

- 委員長（三富美代子） 以上で答弁漏れについて終わります。  
引き続き、危機管理課の質疑を続けます。  
質疑のある方はお願いします。  
杉山委員。
- 委員（杉山茂規） お願いいたします。141ページをお願いいたします。下のほう14番です。災害情報の提供事業ということで、今記載のとおりまもメールであったり、エリアメールとか、様々そんなこと記載があると思います。以前からまもメールについての登録の必要性ということは御課でも言われておりましたけれども、多くの方に登録してもらうための手法様々検討が必要だと思うのですが、令和3年度どのような検討がされましたでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 ホームページは継続的にやっているということと、あとは各種防災会の集まりにつきましては、まもメールのPRをしているという状況になります。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 過去にもお話あったかと思うのですが、若年層、子育て世代に対しての登録してもらう手法についての検討などは行われていますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 外部には発信はまだしていませんけれども、学校関係等は同システムを使っているものですから、そういうところに積極的に話をとるか、PRをしていく手法もあるかなというところで検討しております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 検討されたということで理解いたしました。その検討結果について、実施する方向なのか、実施していかない方向なのか、働きかけを、どちらになったのかお聞かせください。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 ちょっとはっきりしたところはまだ取りまとめていないというところですが、今後学校関係の集まり等があるところで、そういう情報を得ながら実施していきたいと考えております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。今回141ページのところにはまもメールとエリアメール、Jアラートという3種類の情報提供について記載がありますが、ほかのメディアについては情報提供ツールとして活用はどんな状況だったでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 ライン等も広報のほうでやっているものですから、それも合わせて実施している、あとは県で作成した防災アプリですか、これのPR等を実施してい

るところで、今のところはそういう種類のものを進めているということになります。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。また、次年度以降そういったところ記載をいただければと思います。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） 同ページ、144ページになります。LEDの防犯灯なのですが、LED化が進みまして、大分年月がたってこようかと思うのですが、新しいLEDの器具自身がもう古くなったよというような相談等というのは課のほうに来ていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 幾つかあると思うのですが、直接そんなに件数はないのかなというところですか。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） その場合の対応については、こういうふうな形でできますよというふうな方向性というか、流れというか、しっかりそういったものは決まっていますでしょうか。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理課長。

○危機管理課長 その内容については、補助要綱で決まっております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ちょっとはつきりしないところがあるものですから、PRについてはしっかりと確認をしていただきたいと思います。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） もう一点です。防犯のところで、補導をされていると思うのですが、ページ数で言いますと136ページになります。2の裾野市、間違えました。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） 取り下げます。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） お願いします。それでは、137ページお願いします。10番の高齢者運転免許証返納支援事業なのですが、令和3年度数が減っています。これまで延べ何人ぐらいの方が返納されたのでしょうか。

（「委員長、ちょっとすみません」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理課長。

○危機管理課長 延べ人数につきましては、今ちょっと手元にデータないものですから、後ほど回答のほうをさせていただきます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 高齢者の運転免許証返納支援は、高齢者の対象人数が増えて、さらに社会情勢がやっぱり背中押している中で、この数字は令和3年度を取組としては足りなかったという数字で出ているのですが、その点についてはどうでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 基本的には元気であれば運転は続けてもいいのかなというところのスタンスもありますし、あくまでもご家族とかご本人のそういうところに委ねているというか、そういう事業になりますので、その辺についてはそういう形での認識はないです。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 市民の方は、近隣の市、町と比べれば支援事業の内容が足りないという声があるのですが、金額的にも、そういう声は本課では受けていないということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 特別そのような声というのは聞いてはおりません。ただし、今年度のタクシーのチケット等も併せて実施しているというところでいます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 先ほどの答弁も踏まえますと、裾野市においては特に返納を増やすのではなくて、元気で運転できればそれに越したことはないというふうに思っている、一つ事故を防止するという観点ではやっぱり進めるのは大切と思うのですが、ちょっとその辺も矛盾していると思うのですが、どうでしょう。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 免許の更新に関しましては、警察のほうでも更新の手続今高齢者の方は一定の規定もあるというところでありまして、高齢者に対してのドライバーの教室等も合わせて実施しているところでありまして。その辺のところは、どちらかと

いうと兼ね合いもあると思いますけれども、今の形ではそういうことで進めております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） その件は分かりました。

それでは、138ページに行きます。13番の交通災害共済加入状況、見舞給付金状況なのですけれども、これが年々減っていっています。行革との兼ね合いだったかな、少し前に市長がこれ脱退するような声も聞いたのですけれども、その中で裾野市の加入率というのはこの駿東の共済加入組合の関連市、町の中では平均値に行っているのでしょうか。裾野市の加入状況はほかの市、町に遜色ないのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 高い市、町もあるのですけれども、基本的にはほかの市、町とほとんど変わらないような状況になっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） すみません。昨年ですか、やはり決算のとき聞いたら全体は22.3%と伺いました。それと、比べて12.7%なのですが、これを脱退するという声も聞いていたのですが、それはどういうふうにも令和3年度は議論されたのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 加入率を一方で上げるということはどういう形が取れるかということとは組合の中でも協議しているところであります。直接すぐに脱退ということに関しての具体的な検討というものはしていない状況です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） もし例えばこれを脱退という、すぐに脱退という議論はしていないと、しかしあまり希望を持っていないというみたいですが、もしこれが脱退という方法に行くならば、代替案とかそういう議論も令和3年度にはしなかったというふうに理解していいですか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 現在ではそのとおりでございます。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。137ページの借地料の件です。令和3年度裾野駅、岩波駅の駐輪場の借地料をお支払いしていますけれども、この先駐輪場の整備が進むことによって、借地料の解消の見込みがたちますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 決算なのですけれども。令和3年度の内容でということ。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 3年度中、借地料解消に向けた取組等は何かなされましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 裾野駅につきましては、本年度西口の駐輪場の整備を行います。ということは、今JRに借りている借地の部分は解消されるというところであります。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件分かりました。

また、岩波駅の借地もJRのものだとたしか認識していますが、借地料の交渉、借地解消に向けた交渉等何かなさりましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 岩波駅に関しましては、具体的な交渉はしておりません。1つは個人の借地、1つはJRということで具体的にそこはやっていません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 行革の絡みもあって、借地に関しては各課が解消できるような方策を取るよという指示もあったかと思いますが、具体的に何か取り組んだということはないということよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 駐輪場に関しましては先ほどの新設のものぐらいで、そのほか具体的には協議等はしていないというところであります。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

違う件行きます。140ページ、自主防災会の各自治会での防災計画の策定については、全自治体での計画の策定は完成できたでしょうか。

（「委員長、暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理課長。

○危機管理課長 86のうち3年度時点では半分ぐらいの程度の作成状況となります。

その後、進めていますので。ただし、今全地区という形での作成には届いておりません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） コロナ禍ということもあり、各自治会での自主防災会の活動というのも非常に大切な中になっています。それぞれできたところの計画を実際に実行していくような取組は何かなさった自主防災会等ありましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 具体はちょっと分からないのですがけれども、そもそも地区防災計画をつくるという段階で各区の集まりがあって、いろいろな検討をされたということで、それも一つの訓練かなというような形で捉えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ぜひその計画を活用いただけるようにお願いします。



隣の141ページに移ります。県のテレビ会議の関係です。これ静岡県全体各市、町が導入をされることによってメリットがあるというお話を伺っていたと思いますけれども、他市、町の状況は把握されていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 すみません。ちょっとどこ、幾つの市、町がということはちょっと今把握はしていないというところです。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） では、この県のテレビ会議システムを実際に令和3年度中何か活用をして会議はした実績はありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 3年度中にはありません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） これは、どのタイミングで使うものということの整備になりますか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 当然実災害のところの部分と、あとは気象庁からの台風等の解説なんかには今は衛生で1台しかないのですけれども、こういうものに活用できるというところであります。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） コロナ禍でいろんな手法でのネット回線でお話ができるような状況が普及してきていますけれども、この県のテレビ会議システムは防災とかに何か特化した特徴があるというふうに捉えてよろしいのですか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 回線的には専用の回線ということなので、その辺の強みはあると思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 災害時等は、通常の民間の使うような回線とは別につながりやすいというふうに思ってよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 確実につながるというところはいっていませんけれども、一定の部分でそういう強度はあると聞いております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件分かりました。

144ページお願いいたします。防犯灯の関係です。補助金の交付は何点か新設とかされていますけれども、この中で撤去をした防犯灯とかという実績はありますか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理課長。

- 危機管理課長 撤去自体の申請は、特に聞いていないということです。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 各自治体が申請をして新設をした防犯灯の場所等は、危機管理課で全て把握をされている状況になりますか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 台帳上に全てその防犯灯は落としてありますので、把握しているということになります。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） それは分かりました。電気料の交付事業をされています。令和3年度は、2年度に比べると金額が増加しています。LED化も進んでいるという中で、この金額の増の理由はどのようなものだったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 電気料は単価に基づいて算出しております。基本的にこの単価が上がっているという状況、あとは新設の部分の増加、LED化によりかなり減るというイメージがあるのですけれども、実際はこういうような形で算出というか、結果が出ているということになります。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その件分かりました。やっぱり市内が夜間が暗いという言葉をお聞きすることが多くあります。この防犯灯の設置基準が防犯灯と防犯灯の間が50メートル以上という基準がありますけれども、ここについて自治会等からもう少し短いスパンで設置したいとかというご要望があったりは何か3年度中受けたものはありますか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 確かに規定はそうなのですが、現場は違うということで、幾つか話は受けております。それは、現場を確認した上で設置するということがあります。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） では、50メートルに限らず、状況に応じて50メートル以内でも設置の許可は出したということによろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 そのとおりであります。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

岡本委員。

- 委員（岡本和枝） 144ページ、委託業務の中に防犯カメラの保守点検業務委託として東と深良中学校のものがありますが、この委託の内容はどのようなものなのでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 機器自体の正常の作動状況等の確認、あとメンテナンス等になります。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 回数的なものは何かありますか。  
（「委員長、暫時休憩お願いします」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
危機管理課長。
- 危機管理課長 保守点検内容につきましては、確認した上で後ほど報告させていただきます。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
岡本委員。
- 委員（岡本和枝） その内容がちょっと分からないのですが、ちょっと続けてやらせてもらいます。  
今回の決算の中で、予備費の中に東中学校の監視カメラの故障のためということで36万1,000円が使われていますけれども、この委託業者の方が故障とかをチェックされたのでしょうか。どのような状態でこの故障が分かったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 点検の中で指摘がありましたので、その部分で修繕をしたということになります。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、委託の中での点検の中で故障が分かったということで、それにはすぐ対応しようということになったということなのではございますけれども、そのとき予備費を利用された理由というのは。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 当初予算のほうではそこまでの部分を計上していなかったものから、緊急性ということで予備費の対応ということになりました。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） この予備費使われたの12月になっているのですが、具体的に故障のための予算を計上していなければ、このような故障が通常の中で起きた場合にはその中で流用とか何とかほかの部分で予算を使うというようなことではなくて、予備費にもう即行ってしまうという考え方なのですか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 修繕等の予算はとっておりますけれども、その部分では基本的には対応できないということで、緊急性も鑑みて予備費ということで対応しました。

- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 防災費としての不要額も1,093万というのが額としては大きくな  
いかもしれないのですけれども、そういう中で緊急性のある場合はまず流用とかそ  
ういうことというのは考えられなかったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 基本的には年度の予算を見て、流用が可能であれば流用で対応しま  
すけれども、今回はそういう状況ではなかったということで予備費を活用しました。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 137ページ、一番上に会議等がありまして、その中で一番下に交  
通安全計画修正案の審議ということが載っていますけれども、この修正案というの  
は具体的にはどのような修正案が出されたのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 交通安全計画で説明した前ページの136ページの一番下段にあるの  
ですけれども、第11次の裾野市交通安全計画策定に向けて、内容につきましての修  
正案の審議ということになります。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、計画案を提案されて、その中身についての修正案という  
ことではなくて、計画そのものを第11次か何かでつくるための案ということなの  
ですか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 はい、そのとおりでございます。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外議員の質疑はありませんか。  
増田議員、1問につき3回まででお願いします。
- 委員外議員（増田祐二） 分かりました。144ページです。先ほど委員からも質疑あ  
りました委託の中の深良地区山神社付近のダミーカメラ取付業務委託、これは区か  
らの要望だと思うのですけれども、要望内容はどんなものだったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 こちらに関しては、通学路点検の中で中学校からの要望があったと  
聞いております。これに対して、このダミーカメラの設置を行ったということにな  
ります。
- 委員長（三富美代子） 増田議員。
- 委員外議員（増田祐二） ダミーカメラが指定でしたか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 ダミーカメラの指定ということではないとは思いますが。

- 委員長（三富美代子） 増田議員。
- 委員外議員（増田祐二） 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。

ほかにはよろしいですね。

以上で分科会外議員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で危機管理課の質疑を終わります。

#### 危機管理課（答弁漏れ）

- 委員長（三富美代子） 初めに、危機管理課長より答弁漏れについて発言の申出がありましたので、これを許します。

危機管理課長。

- 危機管理課長 先ほどの岡本委員からの質問で、144ページ、防犯カメラの保守点検の関係ですけれども、東、深良中学校の保守点検ですけれども、これは契約期間中年4回実施しております。

以上です。

- 委員長（三富美代子） あともう一件あるはずですがけれども。
- 危機管理課長 もう一つは、高齢者の免許返納の関係です。これまでの延べ件数ということで、この事業自体は平成29年10月から始めております。これまでで合計で895人です、R3年度末までということであります。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長の説明は終わりました。

委員の皆さん、よろしいでしょうか。いいですか。

以上で答弁漏れについて終わります。

## 生活環境課（1号）

○委員長（三富美代子） 生活環境課長の説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。119ページになります。畜犬対策事業の狂犬病予防注射実施数ですが、こちらの実施の内容というのは獣医師さんが各地区を回ってワクチンを打っていくというような事業でよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 昔集団実施していましたが、今は個別にお医者さんに行っていてやってもらっております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 恐らくそれ令和4年度からなくなったということですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 令和2年度からです。

ちょっと暫時休憩お願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

生活環境課長。

○生活環境課長 令和2年度、令和3年度はコロナのために行っておりません。令和4年度からもう正式にやめました。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。では、ここの狂犬病予防注射実施数というのは病院で打たれた数とかいうふうになりますか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 そのとおりです。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

それでは、124ページお願いします。委託業務の浄化槽パトロール業務委託とあるのですけれども、これは具体的にどのような内容のものでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 おおむね5年以上行っていないような、汚泥の引き抜きやっていないようなお宅を抽出して行っているものです。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 5年以上ということですが、これは契約の内容、見に行く方がいると思うのですけれども、そこに委託をしていると思うのですけれども、それは例えば何人ぐらいで行くとかそういうのを聞かせていただけますか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。
- 生活環境課長。
- 生活環境課長 ちょっと今分かりませんので、後でお答えさせていただきます。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） では、人数は後でということでもいいのですけれども、ここに関わる業者の数だけ教えていただけますか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 3社です。
- 委員長（三富美代子） よろしいですか。
- ほかに質疑はありませんか。
- 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 総合戦略の3の1の2ということで、ごみの減量と3Rの推進ということで、廃棄物とか減量をとにかく進めていくというふうな協議が行われております。廃棄物減量等の審議会でどのような議論があったのかということで、先ほどちょっと中身ご紹介いただきましたけれども、もう少し詳細をお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 一般廃棄物の処理基本計画の中で、先ほども三、四項目申し上げましたけれども、例えば資源化で言うならば分別の徹底、これから始まるプラ新法、有料化では例えば美化センターへの持込み、ごみ袋、食品ロスを食べきり運動や3010運動、啓発に関しましては環境学習や市民事業者への情報提供など、出前講座の、そのような形の中で計画はされております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。多分その議論の中で、また市民のどのように浸透させていくかの議論についてもあったかと思うのですが、その辺につきましてはどのような形の結果だったのかをお願いします。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 さっきもこの中で今啓発という話はさせていただきましたけれども、広報も含めていろんな手段で、またごみ減量推進委員という組織もありますので、その中で通じながら減量を進めていく予定でございます。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） その中でどの程度までしっかりと定着をさせるのか、啓発をしていくのかといった目標みたいなものというのは議論されましたでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 先ほども重複するかもしれませんが、令和2年度で市民1人当たりの789グラム1日当たりというものを令和13年度には752グラムまで落として

いきたいという、そのような目標を立てております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ちょっと聞き方を間違えました。752にするために具体的にどのような活動を行うことによって、そう達成するかの目標であったり、そういったものはありますかという質疑でした。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 主には分別の徹底になってくるかと思っております。今年度から新プラの、プラスチック新法による分別も始まりますので、その辺も含めて今後取り組んでいきたいと考えております。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

内藤委員。

○委員（内藤法子） 1つお願いします。畜犬の対策で狂犬病なのですけれども、予算のときに予防接種が減っているの、努力するとおっしゃっていましたが、努力の成果がありました。コロナ前の2,131件に戻っているのですけれども、個別にお医者さんに行って、まだ受けていない、登録数からすると、その差がありますよね。1,100件、わんちゃんいるのですけれども、そういう人にはどのような案内とか、どのような努力をしたのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 はがきでの通知とか、あとは電話とかで対応しております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 行政としては、1,100人がいつも固定して、注射受けているところはちゃんと受けている、ずっと長年受けていないというのは把握しているのですか。多分そうだと思うのですけれども、違いますか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 ちょっとそこまでは私の中では把握しておりませんが、先ほども言いましたようにはがき、電話でやっていない方には通知をしながら受けるようにメッセージをかけております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 恐らくはがきを出した宛先を見ると、ずっと何年もやらないわんちゃんが把握してくると思うのです。それはやっぱりいろんな危険性があるので、そこは力を入れるべきだったと思うのですけれども、そういう分析まで至らなかったということで理解していいですね。令和3年度は。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 申し訳ございません。私の中ではそのような状態になっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それで、下の委託業務なのですけれども、狂犬病予防接種済票



交付事務2件って、これは件数はどのように理解したらいいのですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 これ、駿東と田方のほうの獣医師会にお支払いをさせてもらっているものになります。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） そうすると、前年度が3件なのですけれども、支払い先が減ったということですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 以前獣医師会に入っていないお医者さんもいまして、そこには個別に払ったのです、前年度は。そこが獣医師会に入ってくれたので、今年は2件になります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外議員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外議員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

## 生活環境課（6号）

○委員長（三富美代子） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。令和3年度新たな区域、墓域への手はつけなかったというふうに見てとれますけれども、お待ちになっている方が毎年いらっしゃるという中では、この先4号墓域、5号墓域に対する整備に対する検討というのはどのようにされたのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 区画割のほう……ちょっと暫時休憩お願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

生活環境課長。

○生活環境課長 内政で区画割等の検討をしながら事業のほうの進めができないかの検討を行いました。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その中身をもう少し詳しくお伝えいただきたいのですが、区割り等についてはどのようなサイズ、区数というのかな、で検討は試算されたのですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 全体が210区画程度で、すみません、ちょっと正確な数字はあれなのですが、210区画程度で、前半戦80区画ぐらい、後半戦は残りぐらいのレベルで考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） それは、4号墓域に関してということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 そのとおりです。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 墓地を整備計画のようなものというのは何か策定されたというものはありますか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 それについては行っておりません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 4号だけではなくて、例えば5号を含めた全体のようなものを含めて資金計画みたいのは検討は何か3年度中にされていますか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 そこは行っておりません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 多分事業全体を見た中でのこの先を見たほうがいいのかというふうにちょっと思いました。

先ほど10件の方がお待ちになっているということですが、継続的にこのぐらいの人数が年度内待機をされていたということになりますか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 大体そんな感じです。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） このお待ちになる方についてどういう説明をされていらっしゃるのですか。されたのですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

- 生活環境課長 キャンセル待ちになりますけれども、お待ちになりますかというような状況です。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） それは皆さん、いつできるか分からないけれども、承諾されて待っていらっしゃる方がほとんどということではないのですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのように捉えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 昨年度返還が1件ということでしたけれども、これまでで合わせて33件ありますが、返されたこの1件については理由等はお聞きになっていませんか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 この1件というのではなくて、すみません。暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。
- 生活環境課長。
- 生活環境課長 承継がいなくなったりとか、土地を離れて使わなくなったというような内容で手放していく方が多い中のその原因になっているかと思えます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 返還される方のそういったご事情、それから社会事情とかも含めて、これからの墓地の在り方というのを考えて整備を進めていかななくてはならないと思えますけれども、それらの返されている方とかのご事情とか社会事情も含めた中で先ほど言った4号墓域とかの区割は考えられたということによろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 まずは4号墓域はこの状況下の中でずっと造ってきた中だったものですから、ここに関してはそのまま進めようと考えております。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外議員の質疑はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で分科会外議員の質疑を終わります。  
以上で認定第6号に関する質疑を終わります。  
これより認定第6号について意見を伺います。  
賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(三富美代子) 分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(三富美代子) 以上で認定第6号に関する意見を終わります。

以上で生活環境課の質疑を終わります。

#### 生活環境課(答弁漏れ)

○委員長(三富美代子) 先ほどの質疑の答弁漏れについて発言の申出がありましたので、これを許します。

生活環境課課長代理。

○生活環境課課長代理 先ほどもパトロール委託の現場に入る人数なのですが、まず仕様書がありまして、仕様書に現場は2名以上入ることという条件で委託発注していますので、現場は2名以上で入っています。2名以上なもので、現場に実際何人入っているかまでは調査していないのですが、そこは確実に守ってもらっています。

以上です。

## 美化センター

○委員長（三富美代子） 美化センター所長の説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。130ページです。2の3、（3）、資源化率ですが、令和3年度8.5%ということですが、この8.5%という数字は、これは高いのか低いのか、いい、悪い、これはどういうことか私ちょっと分からないので、教えてくださいませんか。

ちょっと暫時休憩お願いします。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 後ほどのお答えでさせていただきます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

その同じ130ページの4番、ふれあい収集実績というのがあるのですが、これの内容、事業の内容としたらどのようなことか詳しく教えていただけますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 70歳以上のご世帯、世帯、もしくは障がい者の方のところの方が対象でして、年2回まで5品目を無料で粗大ごみをお引き取りするという、そのような内容なものになっております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） その年2回まで5品目ということですが、これ量の制限は特にないということですか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 5品です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 5品ということなので、その小さかろうが大きかろうが例えば粗大ごみ、冷蔵庫が1個と小さいごみ1個とか、そういう量的な重さとかは関係なく5品目ということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 基本的に粗大ごみの品目になります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは、今のふれあい収集のところに関連して、要綱かその中では、玄関まで出してほしいというふうになっているのですが、そのことについて利用者のほうから何か何とかしてほしいとか、そういうことというのはなかったのでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 ちょっと暫時休憩でお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
美化センター所長。
- 美化センター所長 外までになっていますけれども、状況により中まで取りに行くことは可能です。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、実態に合わせて要綱だったと思うのです、変える必要ってあるのではないかと思うのですけれども、そのところの考え方というのはどうなんでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 基本的な原則論として書かせてもらっていて、やはり中で何かあってはちょっと困るものですから、基本的にはお外というのは大原則でやらせてもらっているというところでの今の要綱の書き方になっております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 他のところの似たようなものを見ても、やっぱり本当にきちんと取りに行くと回収するというふうになっていると思うのですけれども、ぜひそれはちょっと再考していただきたいなと思います。  
そうすると、職員の方というのはどちらにしてもわざわざ大きいものを取りに行くという人数の関係とか結構大変ではないかと思うのですけれども、その辺の何か課題は生じていませんか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 取りに行くときにあらかじめどの品目でどんな感じでというのを調整しながら取り行っておりますので、そのへんは特に支障はありません。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） あと、回数の中で本当に利用される方はもう助かった、ありがたい制度だとおっしゃっているのですが、年2回ではなくて回数を増やす考えというのは3年度の中ではなかったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 もともと粗大ごみ、大きいものですので、そこまでのものは考えておりません。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） ぜひ他市、町でも本当似たような形でいろいろなものが出ていますので、参考にされながら本当に職員の方にとってもよくて、利用される方ももっと満足度が高まるような制度をぜひ3年度の中でも考えていただいたところはないのでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 ないです。すみません。申し訳ございません。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 令和3年度の予算審査のときに、もうこの美化センターの件は待ったなしということで、この予算審査のときは広域化という形の検討ということでした。近年新しい市長が単独というようなことも言っていますが、この令和3年の中では令和2年に用地の選定を代替候補地を選定して、それぞれの場所メリット、デメリットを迫及して可能性を検討するということでしたけれども、この検討は何か結論というか出たのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 結論というものは実際問題出ていないです。広域化に関しては、広域化の検討会を3回程度かな、やりながら情報収集をして進め方の考え方を行っておりました。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） これ以上先送りできないという危機感はある担当課にはありますか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 それは、当然早くやらなければいけないということは痛恨して考えております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 取りあえず令和3年度は何とかうまくやっていたということで、つなげたということで決算審査ということでよいということでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 職員が一生懸命機械を維持しながらやってくれていますので、とにかくそのままやっていただけたというのがそのとおりです。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 副委員長（勝又利裕） お願いします。133ページの借地料のところですが、令和3年度何か具体的に動きはあったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 土地、地主組合の総会に参加しまして、売っていただきたいのでそれに対する交渉を進めさせていただきたいという話をさせてもらってきました。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 副委員長（勝又利裕） 地主組合の総会って年に1回だと思っていますので、そこで行ってそこから動き出すというのはスタートになるのかなと思っているけれども、そこまでの動きはまだないということでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 そのときに今年度お会いしたという話で1回、ちょっとこれ外

れるかもしれないけれども、6月に1回お会いさせてもらいまして、次に10月に会う予定でいます。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 了解です。

~~もう一点、プラスチック製容器包装の関係ですけれども、集める量によって処理費が変わってくると思うのですけれども、大体年に300トンぐらいなのかなって気はしていますけれども、その辺の集める量というのほさほど年によってばらつきがあったり、令和3年度は普通というか、令和2年度に比べてどうだったのでしょうか。~~

（「ちょっと暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 今の質疑を取り消します。すみません。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑は。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いします。131ページにあります業務委託、運搬業務委託の関係なのですけれども、毎日のこととか日によってもありますけれども、台風とか例えば車両の故障など、そういった場合の対応についてどのような形でなされているかは把握していますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 委託で任せている以上、どんな状況であっても運ぶことに対してお願いしているというのが委託の内容になっております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 委託の内容分かりました。実際令和3年度はその委託のしています内容どおりの運用というかがなされていることは確認されていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 はい、そのとおりです。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、例えば何か車両の故障があったよということであれば、向こう側で代替車両を用意していただいてしっかりやっけていただいていると、そのような認識でよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 おっしゃるとおりです。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

岡本委員。



- 委員（岡本和枝） 最終処分場というのよく有害化物質の塊みたいなこと言われるのですが、第1表の中で埋立終了対策工事ということで計画を立てられて、その中で土壌の調査みたいなものも含まれているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 今回のこの委託に関しましては、あくまでも要は水質を集めて、ちょっと暫時休憩でよろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。  
美化センター所長。
- 美化センター所長 土壌につきましては、水質検査を委託で行っておりまして、その中で処理をしております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 水質だけではなくて、土壌そのものに対する調査も併せてそれは行われているということなののでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 土壌を抜けてきて排出される水の検査をしているので、問題ないです。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、土壌そのものにいろいろ堆積というか、今までの処理の中で含まれる部分って、その心配というのは全く、排水の時点でチェックしているから大丈夫という捉え方でいいということなののでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 そのように考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いします。131ページの施設維持修繕工事の件です。予算の審査のときも限られた予算の中で優先順位をつけて修繕をしていくということでしたけれども、今回特に予算内で修繕をしたもので、この美化センター自体が継続して運用できるところに今現在あるという認識でいいですか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 継続しながら、今年度はここで来年度はそこという形である程度計画を建てながらの大きい工事をやりながら、あとは小さいもの組み合わせながらでやっているものです。単年度単年度ではなくて、継続的なものを考えながらの維持修繕工事でやらせてもらっています。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 施設のこれからの更新の方向性がまだ見えない中で、この美化センターが動かなくなるというのがすごく怖いことだと思っているのですが、3年度含めてですけれども、万が一の場合に備えてどういう対応を取るといような何

か方針は検討はされていらっしゃるのですか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 故障もそうなのですが、災害時とか何かでも搬入できなくなったようなときにも備えまして、民間会社と毎年契約委託をしております、そのときにはそちらに搬入をさせてもらうというようなものを行っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 先ほど委員からもありましたけれども、施設の更新の方向性が見えていないのが現状だと思います。3年度の中でちょっと何がどう進んだのかが全く見えないのですけれども、3年度中もうちょっと検討した内容とか、具体的に動いた内容というのがあれば教えてください。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 スタート段階では、広域化に向けてという形の中で、広域化の、ちょっと暫時休憩でいいですか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

美化センター所長。

○美化センター所長 静岡県が主催する広域化を通じながら、マスタープランで選ばれた3市2町と勉強会等を進めて、広域、単独問わずとしての内容を調査してまいりました。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この3市2町の中で、広域についてそこにスポットを当てた協議というのはしたということですか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 そこで、集まる3回ぐらい行っています。その3市2町だけの集まり3回ぐらい行っています。

（「では、した」の声あり）

○美化センター所長 した、はい。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） それらの結果も踏まえて、この先の方針を見直しをしたというところになりますか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 いろんな考え方がありますので、一つの手法として今は捉えながらその会議に入っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） では、これまでに選定してきた候補地等に対する環境アセスとかの準備等は、令和3年度は何か着手したものはありますか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長　ございません。はっきり言ってございません。

ちょっと暫時休憩でいいですか。

○委員長（三富美代子）　暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子）　再開いたします。

賀茂委員。

○委員（賀茂博美）　最後ちょっと確認ですけれども、3年度中に先ほど幾つかの検討をしたという話ありましたが、これまでにつくった基本構想があります。ここは基にした上での協議をしてきたということで間違いはないですか。

○委員長（三富美代子）　美化センター所長。

○美化センター所長　ちょっと暫時休憩でいいですか。

○委員長（三富美代子）　暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子）　再開いたします。

美化センター所長。

○美化センター所長　今までの構想は手法の話とか、土地の話、あと広域化の話などが入っていたと思います。広域化に関してはまさしく今やっているところで、土地に関しては先ほども言ったのですけれども、ちょっと調べられてはいないのですけれども、そういうところの当ての考え方はしています。だから、まるっきり離れたという話ではなく、見ながらの検討にはなっていると捉えております。

○委員長（三富美代子）　ほかに質疑はありませんか。

以上で委員の質疑を終わります。

分科会外議員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子）　以上で分科会外議員の質疑を終わります。

以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子）　分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子）　以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

#### 美化センター（答弁漏れ）

○委員長（三富美代子）　あともう一点、資源化率の関係がありますけれども、そこらは役職はどなた。

美化センター主査。

○美化センター主査 先ほどの資源化率についてなのですが、こちらは8.5という形で多いか少ないかという部分なのですが、全体的な県、全国的な捉えてはいませんが、平均的に28年8.6、8.5、8.5、8.3、9.0、8.5という形でなっております。基本的に多いか少ないかと言われますと、少ないほうだと思います。

○委員長（三富美代子） 以上で答弁ございましたが、委員の皆さん、何かありますでしょうか。よろしいですか。

では、以上で答弁漏れについてを終わります。

以上で美化センターの質疑を終わります。

以上で環境市民部関係の質疑を終わります。

## 議会事務局

- 委員長（三富美代子） 議会事務局長の説明は終わりました。  
質疑に入ります。質疑はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。  
分科会外議員の質疑はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で分科会外議員の質疑を終わります。  
以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。  
これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。  
賛否に関する意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。  
以上で、議会事務局の質疑を終わります。

## 監査委員事務局

○委員長（三富美代子） 監査委員事務局長の説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。

杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いいたします。代表監査が亡くなりまして、識見委員の不在ということの中で、残りの期間というか令和3年度運営されたと思うのですが、その間に課題等、そういったものはあったでしょうか。

○委員長（三富美代子） 監査委員事務局長。

○監査委員事務局長 職務代理者の規定の運用をはじめ、監査に影響が出ないように努めてきたところですが、委員からはやはり一人で実施することの負担が増えているということをお伺いしております。事務的には30年以上職務代理者を置かれたことがないというところまでは確認できたのですが、それ以上はちょっと確認できなかったものですから、法的に誤りがないように細心の注意を払って実施をしてきました。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。職務代理者から負担が増えているという話を聞いてということで、今後取ることができる対策についての検討などは令和3年度ありましたでしょうか。ちょっと休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

監査委員事務局長。

○監査委員事務局長 事務局として一番心配したことが住民監査請求があった場合、例えばそれが除斥の関係する事項であった場合監査ができないということになりますので、その部分法律的にどのような場合に除斥をされるか少し検討のほうをしたということがございました。その結果、除斥については内容にもよるのですが、こういう場合はこういうふうな対応を取るといような大まかなガイドライン的なものは策定しております。

以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。ありがとうございました。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外議員の質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で分科会外議員の質疑を終わります。

以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(三富美代子) 分科会外議員の賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(三富美代子) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で、監査委員事務局の質疑を終わります。

## 出納課

- 委員長（三富美代子） 会計管理者の説明は終わりました。  
質疑に入ります。質疑はありませんか。  
賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いします。前回の決算でも伺っていますけれども、令和3年度の組み替え運用についてはどの程度の金額をされたのか伺います。
- 委員長（三富美代子） 会計管理者。
- 会計管理者 繰替運用でよろしいでしょうか。繰替運用につきましては、年を通して28億円の繰替えをしております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） コロナ禍で不測の事態等も備えての運用だったのではないかなというふうに思いますけれども、基金の運用という部分については3年度どういった方向性で基金を運用していこうみたいなものが何か指針のようなものって何かあればそこをお伝えできますか。
- 委員長（三富美代子） 会計管理者。
- 会計管理者 昨年の方針としましては、基本的には大口の預金のほうで運用していくというような記録がされていまして、そのような形での運用だというふうに理解しております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 大口ということで基金を幾つもセットにしたもので運用されたという中で、財調については短く何回かというふうな形を取られているかなと思いますけれども、財調を1個でまとめるというのはちょっと難しい話だったですか。
- 委員長（三富美代子） 会計管理者。
- 会計管理者 財調は、やはり最低現金のほうで不足があった場合にやはりそちらの法に運転資金として回すということもありますので、年を通してというのはちょっと避けていまして、基本的には短期の運用という形でしております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 一時借入れ等はしなくても運用はできたということで大丈夫ですか。
- 委員長（三富美代子） 会計管理者。
- 会計管理者 そのとおりです。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 企業版ふるさと納税は、基金の運用が記載ないのですけれども、これは歳入された時期が年度の末のほうだったということでよろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 会計管理者。
- 会計管理者 入金されたというか、歳入されたのは年度末ということで昨年度はございません。



○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で、出納課の質疑を終わります。

以上で予算決算委員会総務分科会に割り振られました議案の質疑を終了いたします。

## 自由討議

○委員長（三富美代子） それでは、委員の皆様申し上げます。

発言は1人ずつマイクを使用し、委員長の指名により発言をしていただきますようお願いいたします。ということです。

特に挙手がないのですけれども、順番でよろしいですか。

では、木村委員。

○委員（木村典由） マイクでいいのですよね。

○委員長（三富美代子） はい、マイク使ってください。

○委員（木村典由） お疲れさまでした。初めての決算審査ということで、予算審査をしていないものを決算審査するという事だったのですけれども、もうちょっと自分の中では突っ込んで審査できればよかったなというところがありました。例えば今日あった危機管理課とかの駐輪場の問題であるとか、その土地の金額がずっと一律一緒であったりとか、その辺をもうちょっと見ていったほうがいいのかとか、人件費の問題であるとか、もうちょっと奥まで調査して突っ込んでいければよかったなとは思っていますけれども、次回頑張ろうと思っています。

以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。

それでは、杉山委員、よろしいですか。

○委員（杉山茂規） まずは、2日間お疲れさまでした。今回日程的に予備日がない日程でちょっと不安なところあったのですが、無事ここまで終わることができてよかったと思います。本当に運営もスムーズでいってよかったということで、本当ありがとうございます。

調書についてなのですけれども、今日ちょっとあったのですが、書き方の問題なのですけれども、様々ちょっと配慮したほうが良いところがあるかななんてところは感じました。あと、また支所の清掃業務のところなのですけれども、例えば同じ項目だけでも、期間が違う場合など、そういうところも入れてもらえると分かりやすいなというふうに感じました。

また、今回本当に初めてなのですけれども、調書や決算書を紙を持たないようにしてちょっとやってみました。ちょっと小さくなるものですから、文字が、見にくい反面、検索で文字を探ることができたりですとか、答弁のメモとか、あと分からなかった言葉をその場で調べることができて非常に理解につながったなというふうに非常に感じました。よかったと思います。

また、当局の側でもパソコン持ち込んでいらっしゃる方もいまして、後々は後ろのほうにある事務局端末のほうの皆さん使われるところもありまして、自分にとって使いやすいのが使えるということがよかったなと思います。

また、自分なんか紙資料持ってこないということの中では、日程表なんかを自分でデジタル化をさせてもらいました。今後はそういったものもデジタル化する必要

があるのかなというところを感じました。

決算全体についてなのですけれども、今回第1期の行財政構造改革最終年ということの中で、皆さんの苦労話みたいなものが出てくるのかなと思ったのですが、積極的な説明はありませんでした。質疑の中で聞くと多少そういうふうなものはあったのですが、どちらかというところではコロナへの対応の部分が非常に苦慮されているというふうな印象を受けました。また、コロナというところの中では多くのところで、は代替措置を考えて、こういうふうに工夫したというところがあったのですけれども、全く代替措置考えていませんでしたというところがあったということは今後の課題なのかなということは感じました。

全体を通しては、決算と言いますと是とするというような考え方で私は思っております。

以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。

次に、賀茂委員、お願いいたします。

○委員（賀茂博美） まずは審査お疲れさまでした。この令和3年度の予算が第1期の行革の最終とかつ予算上程したタイミングで財政非常事態宣言を受けた予算、非常事態宣言は令和4年度からと言われていましたけれども、その中ですごく職員の方の危機感を持った1年間を過ごされたのかなというのが確認できるといいなというふうに思いながら審査をしましたがけれども、継続的にやってきているものというのが非常に多くて、それぞれの年度内での検討して新しい形に変えていくというのがあまりなかったのかなという印象を正直受けています。ただ、財政的なものからすれば、交付税とかの増額があって、財調の取崩しは当初よりも少なくなったというのは非常に結果としてはよかったのしょうけれども、財政の均衡を図る一歩につながっているかという部分がちょっと、コロナの影響も非常にありますので、少し確認できなかったのかなというふうには思っています。

いずれにしても、取りあえず以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。

では、内藤委員、お願いいたします。

○委員（内藤法子） 令和3年度の予算執行は、先ほど賀茂委員がおっしゃったみたいに令和3年2月に財政非常事態宣言があって、かつコロナの影響を受けた年で、今までに経験のないやっぱり執行を当局は強いられたと思います。そして、第1期の構造改革の最終年でした。幸い財政面では少し交付税も多かったということで、今までのなくちょっとよかったのですけれども、これはやっぱり特殊な事情で今後こういうものは期待できるかといったら非常に難しいので、やっぱり非常事態ということを頭に置きながらやっていかないといけないなと思っています。

それで、残念だったのはやっぱり大きな課題に向けては全然解決に向かっていない、美化センターの問題とか、先送りできないという状況は前の決算のときももう

ここ何年かずっとずっとずっと言い続けて、認識しつつ、形というか、前進していないというのがちょっと今後どうなのかなと思いました。

それから、墓地のほうもそうです。待ち、待っている人がいるのにどうしていいのかなというの考えないといけないなと思いました。

それから、そういう大きなテーマに比べれば小さいテーマかもしれませんが、弁護士相談とか市民が相談を受ける人の倍以上設けられていないのに、だったら予算をつけるとか、途中で工夫とかできなかったのかなとかいうふうに思いました。一生懸命やってくださったのは分かるのですが、ここちょっと改善したほうがいいのではないかと、ここでできていなかったり、もっと大きなことをしっかりと話して、少しでも形が見えるようにして、少しでもやっぱり大きく前進してほしいなという思いがありました。しかし、決算としてはよく頑張ってくださいと思うので、認める方向でいます。

以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。

次に、岡本委員、お願いいたします。

○委員（岡本和枝） 令和3年度のやっぱり決算というの、この間市が進めてきます行革の真ただ中に決算だなというふうに思いました。その中で、総合計画の目標値を注視しなくもなったという、これはとても大きなことかなというふうに思います。単一の数値で数値目標を求めることで、施策の裏側にある市民生活とか、そういう政策的なところまで数値目標だけだと、その必要な施策みたいなものがなかなか見えづらい状況があったのかな、それが今回以降それがなくなっていくのはとても歓迎する方向性だなというふうに思いました。

区の運営費のところ、僅かなお金なのですけれども、一律とにかくこういう理由で削減、とにかく削減する必要性があったから削減したというような、そういうところがたくさんあったのですけれども、今回の決算を終えて、これからは政策的に市民にとってどうなのかみたいなことが考えられるような姿勢になっていく、そういう希望を見た決算だったかなというふうに思います。

資料もいろいろ全てA4の縦になっていて、これで慣れればとても見やすいのかなというふうに思いました。

以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。

そうしたら、勝又委員。

○副委員長（勝又利裕） 皆さん、お疲れさまでした。令和3年度決算ということで、先ほど委員からも話があったとおり、財政非常事態宣言を受けた中での予算審査をして、その予算議決した中での決算どうだという視点で審査はしたつもりですが、それともう一点は総務委員会が一番最初ということで、もちろん一番最初財政課やるわけですので、全体を通しての決算に関しての財政課の考え方というか、

そういうところがもう少し自分として吹き出せなかったかな、次の常任委員会へ引き継げるような審査ができたかちょっと反省点残りますけれども、そんなところです。

それから、日程については4年に1度のものがありますので、予備日を設けなくて2日間ということをやりましたけれども、いいのかなという、日程的には2日間で何とかなるのかなという気はしています。今後また議運のほうでも検討してもらえればとは思っていますけれども。

それから、委員のほうからちょっと出ましたけれども、主要事務事業調書の記載の表現の方法がやはり杉山委員からも出ました、それともう一点分科会外議員からも出たのですけれども、声のポスト通信のところが苦情と要望という表現になっていたけれども、どちらかという意見と要望のほうがいいのかなというようなこともありましたので、そこらはもう少し、表現の方法も検討する必要があるのかなと思いました。

全体的に決算について、令和3年度予算に対しての決算ですから、予算を認めた中で決算を審査した中でおおむね妥当であるだろうという、私はそういう考えでおります。

以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。

皆さんの意見を伺わせていただきました。決算審査、このところ総務委員会が一番最初に行くということになりまして、財政課が一番トップで審査になるのですけれども、なかなか準備も忙しかったのではないかなというふうに感じております。皆さんのこの今出されたご意見に対して、また新たな何かお考えとかがありましたら、発言していただきたいなと思いますけれども、特に今まで話していただいたことでよろしければそれはそれでいいのですが、その辺はいかがでしょうか。

岡本委員。

○委員（岡本和枝） 勝又委員が最後におっしゃった、私もすごくそれを感じるのです。デジタル研究会の一番最後の会議だったかと思うのですが、オンラインで見ていたのですが、最後に岡本教授か誰かだったのですが、市民の声というのは苦情として捉えるのではなくて、考える市民、考えているのだというふうな捉え方をすることが今必要だとおっしゃっていたのととても印象に残っていて、そういう視点で今回も見てきたという部分では、ありふれた言葉なのだけれども、とても意味深いことなのかなというふうに思いました。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。

皆様からはほかには特にはないようですか。

委員長としてちょっと振り返らせていただくと、一生懸命皆さんも質疑をするときになるべく簡潔にということをお願いしながら頑張らせていただいているのはよく分かりますのですけれども、途中で説明の部分がだんだん大きくなってしまっ

たというところを感じています。それは委員長の采配が悪かったということにもなるのかもしれませんが。また、次に活かしていただいて、なるべく説明の部分は少なく、ポイントを押さえて質疑を展開していただければなということを感じました。

答弁側の方々についても、どうしても一生懸命で説明部分が長くなってしまふという傾向が多かったのかなということが委員長としても反省点ではあります。おおむね皆様のご協力をいただいて、日程の大体計画どおりには進めさせていただいたので、その点は感謝をしております。

今日自由討議の中で皆さんがお話をしてくださった要点だけを委員長報告の中の自由討議でこういうことをというポイントだけをお話をさせていただいて、報告をさせていただくというようなことでいきたいというふうに思いますけれども、その点はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、委員長一任ということで。ありがとうございます。

では、以上で自由討議のほうはよろしいということですね。

以上で本分科会に割り振られました議案の審査は全て終了いたしました。

来る9月14日の予算決算委員会で分科会委員長の報告をいたします。審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げます、本分科会を閉会いたします。大変にお疲れさまでした。

15時34分 閉会